



東地裁総第2665号

平成30年11月20日

山中理司様

東京地方裁判所長 安浪亮介



司法行政文書開示通知書

8月28日付け（同月29日受付）で申出のありました司法行政文書の開示について、下記のとおり開示することとしましたので通知します。

記

1 開示する司法行政文書の名称

別紙のとおり

2 開示の実施方法等

(1) 実施の方法

1の各文書の閲覧及び謄写

(2) 閲覧の場所

東京地方裁判所事務局総務課

(3) 開示の実施期間

平成30年11月20日から同年12月11日まで（土、日、祝日を除く。）  
の午前10時から午後4時45分まで（午後零時15分から午後1時までを  
除く。）

（担当）総務課 電話03（3581）2733（ダイヤルイン）

(別紙)

開示する司法行政文書の名称

- (1) 第1号様式 (口頭弁論調書 準備的口頭弁論調書合議用) (片面で1枚)
- (2) 第1号様式 (口頭弁論調書 準備的口頭弁論調書単独用) (片面で1枚)
- (3) 第2号様式 (弁論準備手続調書合議用) (片面で1枚)
- (4) 第2号様式 (弁論準備手続調書単独用) (片面で1枚)
- (5) 第3号様式 (書証目録) (片面で1枚)
- (6) 第4号様式 (証人等目録) (片面で1枚)
- (7) 証人等調書 (罫線あり) 書式 (片面で1枚)
- (8) 第6号様式 (調書合議用) (片面で1枚)
- (9) 第6号様式 (調書単独用) (片面で1枚)
- (10) 調書用紙 (継続) 書式 (片面で1枚)
- (11) 速記録書式 (片面で1枚)
- (12) 口頭弁論調書簡略単独用書式 (片面で1枚)
- (13) 口頭弁論調書簡略合議用書式 (片面で1枚)
- (14) 簡略 (口頭弁論) 調書用継続用紙書式 (片面で1枚)
- (15) 弁論準備手続調書簡略単独用書式 (片面で1枚)
- (16) 弁論準備手続調書簡略合議用書式 (片面で1枚)
- (17) 弁論準備簡略調書1人受命用書式 (片面で1枚)
- (18) 弁論準備簡略調書2人受命用書式 (片面で1枚)
- (19) 簡略 (弁論準備手続) 調書用継続用紙書式 (片面で1枚)
- (20) 手続・期日経過表書式 (片面で1枚)
- (21) 証人等調書 (罫線なし) 書式 (片面で1枚)
- (22) 証人等調書 (別紙引用型) 書式 (片面で1枚)
- (23) 口頭弁論調書レ号事件簡略書式 (片面で1枚)
- (24) 弁論準備手続調書レ号事件簡略書式 (片面で1枚)

- (25) 弁論準備手続調書レ号事件簡略1人受命用書式 (片面で1枚)
- (26) 弁論準備手続調書レ号事件簡略2人受命用書式 (片面で1枚)
- (27) 簡略調書様式・即日判決言渡用 (単独) (片面で1枚)
- (28) 簡略調書様式・後日判決言渡用 (単独) (片面で1枚)
- (29) 簡略調書様式・即日判決言渡用 (合議) (片面で1枚)
- (30) 簡略調書様式・後日判決言渡用 (合議) (片面で1枚)
- (31) 和解条項案提示書書式 (片面で1枚)
- (32) 「和解条項案の提示について」書式 (片面で1枚)
- (33) 和解条項案受諾書書式 (片面で1枚)
- (34) 口頭弁論期日呼出状・答弁書催告書 (通常事件用) 書式 (片面で1枚)
- (35) 口頭弁論期日呼出状・答弁書催告書 (控訴事件用) 書式 (片面で1枚)
- (36) 口頭弁論期日呼出状・答弁書催告書 (督促異議事件用) 書式 (片面で1枚)
- (37) 期日呼出状 (第1審) 書式 (片面で1枚)
- (38) 期日呼出状 (控訴審) 書式 (片面で1枚)
- (39) 期日の簡易呼出表書式 (片面で1枚)
- (40) 証拠申出書書式 (片面で4枚)
- (41) 送付囑託書, 「送付囑託について (説明)」書式 (片面で2枚)
- (42) 文書送付囑託関係のモデル書式について (案) (片面で19枚)
- (43) 鑑定囑託書書式 (片面で1枚)
- (44) 鑑定依頼書書式 (片面で1枚)
- (45) 決定 (書面尋問の決定のみ行う場合), 決定 (証人の採用及び書面尋問の決定を行う場合) 書式 (片面で2枚)
- (46) 回答依頼書書式 (片面で1枚)
- (47) 証拠説明書書式 (片面で1枚)
- (48) 書証否認等理由書書式 (片面で1枚)
- (49) 宣誓書書式 (片面で3枚)

- (50) 証人呼出状書式 (片面で1枚)
- (51) 事務連絡書式 (片面で1枚)
- (52) 当事者尋問呼出状書式 (片面で1枚)
- (53) 鑑定人呼出状書式 (片面で1枚)
- (54) 「御案内」書式 (片面で1枚)
- (55) 送達報告書書式 (片面で1枚)
- (56) 送達報告書 (交付送達用) 書式 (片面で1枚)
- (57) 公示送達処分・同送達報告書書式 (片面で1枚)
- (58) 公示送達書 (掲示用) 書式 (片面で2枚)
- (59) 「郵便に付する送達について (通知)」書式 (片面で1枚)
- (60) 「就業場所送達について (通知)」書式 (片面で1枚)
- (61) 「送達場所等の届出について」書式 (片面で1枚)
- (62) 「送達場所等の届出」書式 (片面で1枚)
- (63) 休日・夜間送達依頼書書式 (片面で1枚)
- (64) 登記嘱託書書式 (片面で1枚)
- (65) 執行文 (「付与の事由」欄に「ア 事実の到来を証する文書を提出 (民執法27 I)」とあるもの) 書式 (片面で1枚)
- (66) 執行文 (「付与の事由」欄に「ア 証明すべき事実の到来を証する文書を提出」とあるもの) 書式 (片面で1枚)
- (67) 執行文 (「付与の事由」欄のないもの) 書式 (片面で1枚)
- (68) 正本用紙書式 (片面で1枚)
- (69) 謄本用紙書式 (片面で1枚)
- (70) 証明用紙書式 (片面で1枚)
- (71) 期日請書書式 (片面で1枚)
- (72) 「ファクシミリ利用のご案内」書式 (片面で1枚)
- (73) 準備書面・書証等提出書兼準備書面・書証等受領書書式 (片面で1枚)

- (74) 放棄書書式 (片面で1枚)
- (75) 受領書 (「記1」から「記3」までの記載欄があるもの) (片面で1枚)
- (76) 受領書 (該当する事項の口にレを付する形式のもの) 書式 (片面で1枚)
- (77) 訴訟費用額確定処分書書式 (片面で1枚)
- (78) 決定 (手数料還付申立事件用) 書式 (片面で1枚)
- (79) 目録 (表の冒頭に「東京地方裁判所民事第 部」とあるもの) 書式  
(片面で1枚)
- (80) 目録 (表の上部欄外に「東京地方裁判所民事第 部全 冊 ( 丁) 」とあるもの) 書式 (片面で1枚)
- (81) 予納郵便切手返還書, 予納郵便切手受領書書式 (片面で2枚)
- (82) 庁舎案内図書式 (片面で1枚)
- (83) 第1号様式 (民事保全事件審尋調書合議用) (片面で1枚)
- (84) 第1号様式 (民事保全事件審尋調書単独用) (片面で1枚)
- (85) 第2号様式 (民事保全事件口頭弁論調書合議用) (片面で1枚)
- (86) 第2号様式 (民事保全事件口頭弁論調書単独用) (片面で1枚)
- (87) 第3号様式 (民事保全事件書証目録) (片面で1枚)
- (88) 第4号様式 (民事保全事件参考人等目録) (片面で1枚)
- (89) 第5号様式 (民事保全事件参考人等調書) (片面で1枚)
- (90) 第6号様式 (民事保全事件証人等調書) (片面で1枚)
- (91) 第1号様式 (期日調書合議用) (片面で1枚)
- (92) 第1号様式 (期日調書単独用) (片面で1枚)
- (93) 第2号様式 (書証目録) (片面で1枚)
- (94) 第3号様式 (証人等目録) (片面で1枚)
- (95) 第4号様式 (証人等調書) (片面で1枚)
- (96) 第5号様式 (事件経過表) (片面で1枚)
- (97) 期日一覧表書式 (片面で1枚)

第1号様式（口頭弁論調書 準備的口頭弁論調書合議用）

裁判長	
認 印	

第 回 口 頭 弁 論 調 書 ( <input type="checkbox"/> 準 備 的 )	
事 件 の 表 示	平成 年 ( ) 第 号
期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
場所及び公開の有無	法廷で公開
裁判長 裁判官 裁判官 裁判所書記官	
出頭した当事者等	
指 定 期 日	平成 年 月 日 午前 時 分
弁 論 の 要 領 等	

(注) 1 該当する事項の□にレを付する。

2 「弁論の要領等」の記載の末尾に、裁判所書記官が記名押印する。

第1号様式（口頭弁論調書 準備的口頭弁論調書単独用）

裁判官	
認 印	

第 回 口 頭 弁 論 調 書 ( <input type="checkbox"/> 準 備 的 )	
事 件 の 表 示	平成 年 ( ) 第 号
期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
場所及び公開の有無	法廷で公開
裁 判 官 裁 判 所 書 記 官	
出頭した当事者等	
指 定 期 日	平成 年 月 日 午前 時 分
弁 論 の 要 領 等	

- (注) 1 該当する事項の□にレを付する。  
 2 「弁論の要領等」の記載の末尾に、裁判所書記官が記名押印する。

第2号様式（弁論準備手続調書合議用）

裁判長	
認 印	

第 回 弁 論 準 備 手 続 調 書	
事 件 の 表 示	平成 年 ( ) 第 号
期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
場 所 等	準備手続室 (□電話会議の方法による)
裁判長 裁判官 裁判官 裁判所書記官	
出頭した当事者等	
指 定 期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
当 事 者 の 陳 述 等	

- (注) 1 該当する事項の□にレを付する。  
 2 「当事者の陳述等」の記載の末尾に、裁判所書記官が記名押印する。

第2号様式（弁論準備手続調書単独用）

裁判官	
認 印	

第 回 弁 論 準 備 手 続 調 書	
事 件 の 表 示	平成 年 ( ) 第 号
期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
場 所 等	準備手続室 ( <input type="checkbox"/> 電話会議の方法による )
裁 判 官 裁 判 所 書 記 官	
出頭した当事者等	
指 定 期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
当 事 者 の 陳 述 等	

(注) 1 該当する事項の口にレを付する。

2 「当事者の陳述等」の記載の末尾に、裁判所書記官が記名押印する。

第3号様式 (書証目録)

( 号証) 書 証 目 録 ( 提出分)						
(この目録は、各期日の調書と一体となるものである。)						
番号	提 出		陳 述			備 考
	期 日	標 目 等	期 日	成 立	成立の争いについての主張	
	第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁 論 準 備		第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁 論 準 備			
	第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁 論 準 備		第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁 論 準 備			
	第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁 論 準 備		第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁 論 準 備			
	第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁 論 準 備		第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁 論 準 備			
	第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁 論 準 備		第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁 論 準 備			

(注) 該当する事項の□にレを付する。

第4号様式 (証人等目録)

証人等目録 ( 申出分)							
(この目録は、期日に行われた事項については、各期日の調書と一体となるものである。)							
申 出		採否の裁判		証拠調べの施行		調書の作成 に関する許 可等	備 考
期 日 等	証拠方法の表示等	期 日 等	採否 の別	指 定 期 日			
				年月日	時		
第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備 ． ．		第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備 ． ．	採 ・ 否			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調書省略 <input type="checkbox"/> 調書記載 に代わる 録音テー プ等
第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備 ． ．		第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備 ． ．	採 ・ 否			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調書省略 <input type="checkbox"/> 調書記載 に代わる 録音テー プ等
第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備 ． ．		第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備 ． ．	採 ・ 否			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調書省略 <input type="checkbox"/> 調書記載 に代わる 録音テー プ等
第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備 ． ．		第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備 ． ．	採 ・ 否			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調書省略 <input type="checkbox"/> 調書記載 に代わる 録音テー プ等
第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備 ． ．		第 回 <input type="checkbox"/> 弁 論 <input type="checkbox"/> 準備的弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備 ． ．	採 ・ 否			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調書省略 <input type="checkbox"/> 調書記載 に代わる 録音テー プ等

(注) 該当する事項の□にレを付する。

(証人等調書)

<input type="checkbox"/> 証人 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 鑑定人 <input type="checkbox"/> 調書 (この調書は、第      回口頭弁論調書と一体となるものである。)		裁判所書記官印
事件の表示	平成      年      (      ) 第      号	
期      日	平成      年      月      日      午前・午後      時      分	
氏      名		
年      齢		
住      所		
宣誓その他の状況	<input type="checkbox"/> 裁判長(官)は、宣誓の趣旨を説明し、 <input type="checkbox"/> 証人が偽証した場合の罰を <input type="checkbox"/> 本人が虚偽の陳述をした場合の制裁を <input type="checkbox"/> 鑑定人が虚偽の鑑定をした場合の罰を 告げ、別紙宣誓書を読み上げさせてその誓いをさせた。 <input type="checkbox"/> 裁判長(官)は、さきにした宣誓の効力を維持する旨告げた。 <input type="checkbox"/> 後に尋問されることになっている証人は <input type="checkbox"/> 在廷しない。 <input type="checkbox"/> 裁判長(官)の許可を得て在廷した。 <input type="checkbox"/>	
陳   述   の   要   領		

(注) 1 該当する事項の□にレを付する。  
2 「陳述の要領」の記載の末尾に「以上」と記載する。

第6号様式（調書合議用）

裁判長	
認 印	

調 書	
事 件 の 表 示	平成 年 ( ) 第 号
期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
場 所	
裁判長 裁判官 裁 判 官 裁 判 官 裁判所書記官	
出頭した当事者等	
手 続 の 要 領 等	

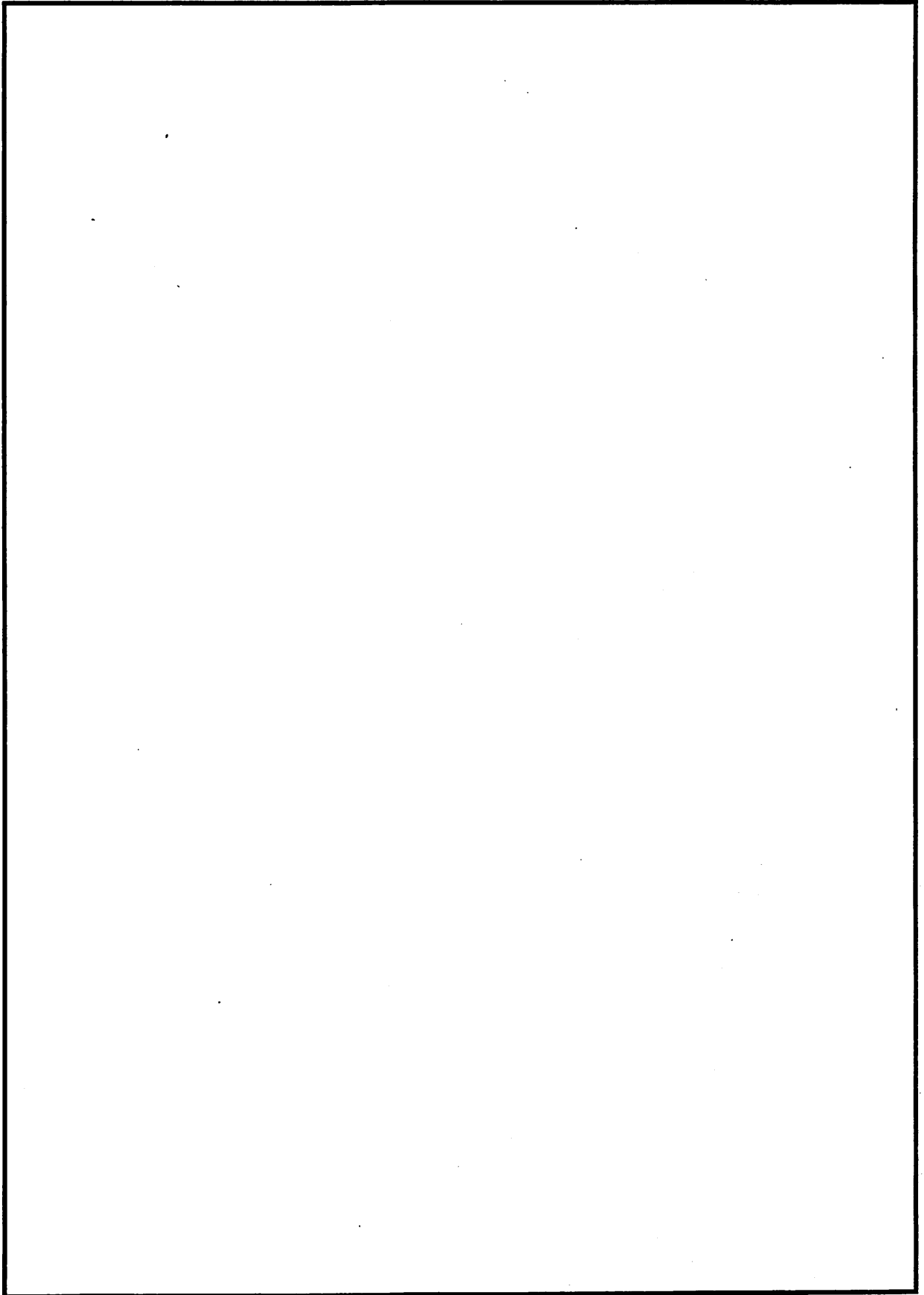
「手続の要領等」の記載の末尾に、裁判所書記官が記名押印する。

第6号様式（調書単独用）

裁判官	
認 印	

証 拠 調 べ 調 書	
事 件 の 表 示	平成 年 (ワ) 第 号
期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
場 所	
裁 判 官 裁 判 所 書 記 官	
出頭した当事者等	
手 続 の 要 領 等	

「手続の要領等」の記載の末尾に、裁判所書記官が記名押印する。



平成 年 月 日 <b>速 記 録</b> 第 回 <input type="checkbox"/> 口頭弁論 <input type="checkbox"/> 公判 <input type="checkbox"/>	
事 件 番 号	平成 年 ( ) 第 号
氏 名	

(注) 該当する事項の□にレを付する。

事件の表示	平成 年 ( ) 第 号	裁判官 認 印	
第 回 口 頭 弁 論 調 書 ( <input type="checkbox"/> 準備的)			
場所及び公開の有無	東京地方裁判所 民事第 部法廷で公開	期 日	平成 年 月 日 午前 午後 時 分
裁 判 官	末尾記載の裁判所書記官	出頭した当事者等	原告等
裁判所書記官			被告等
弁 論 の 要 領 等			
原告等		被告等	
<input type="checkbox"/> 訴状 (代わる準備書面) 陳述 - <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 訴状訂正 (訴え変更) 申立書 ( . . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 答弁書陳述 - <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 請求棄却申立て <input type="checkbox"/> 請求原因事実は認める。 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>	
裁 判 所			
<input type="checkbox"/> 裁判所速記官 立会 付 <input type="checkbox"/> 弁論準備手続 <input type="checkbox"/> 書面による準備手続 <input type="checkbox"/> 自庁調停 <input type="checkbox"/> 和解勧告 <input type="checkbox"/> 和解続行 <input type="checkbox"/> 和解打ち切り <input type="checkbox"/> 弁論終結 <input type="checkbox"/> 判決書原本に基づき判決言渡し <input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> 出頭当事者 <input type="checkbox"/> 口頭弁論の結果陳述 弁論準備手続 <input type="checkbox"/> 続行 <input type="checkbox"/> 延期 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 証拠関係別紙のとおり <input type="checkbox"/> その他の記載は別紙のとおり		指定期日 平成 年 月 日 午前 午後 時 分 <input type="checkbox"/> (判決言渡し) <input type="checkbox"/> 弁論準備 <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/>	
		裁判所書記官	

(注) 1 該当する事項の□に認印する。

2 この調書に符号を使用したときは、事件記録の表紙による。選択事項については○で囲む方法により選択する。

事件の表示	平成 年 ( ) 第 号	裁判長 認 印	
第 回 口 頭 弁 論 調 書 ( <input type="checkbox"/> 準備的)			
場所及び公開の有無	東京地方裁判所 民事第 部法廷で公開	期 日	平成 年 月 日 午前 午後 時 分
裁判長 裁判官 裁 判 官 裁 判 官 裁判所書記官	末尾記載の裁判所書記官	出頭した当事者等	原告等
			被告等
弁 論 の 要 領 等			
原告等		被告等	
<input type="checkbox"/> 訴状(代わる準備書面)陳述- <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 附帯請求起算日 平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 訴状訂正(訴え変更)申立書( . . . 付)陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . . 付)陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . . 付)陳述 <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 答弁書陳述- <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 請求棄却申立て <input type="checkbox"/> 請求原因事実は認める。 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . . 付)陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . . 付)陳述 <input type="checkbox"/>	
裁 判 所			
<input type="checkbox"/> 裁判所速記官 立会 付 <input type="checkbox"/> 弁論準備手続 <input type="checkbox"/> 書面による準備手続 <input type="checkbox"/> 自庁調停 <input type="checkbox"/> 和解勧告 <input type="checkbox"/> 和解続行 <input type="checkbox"/> 和解打切り <input type="checkbox"/> 受命裁判官を と指定 <input type="checkbox"/> 弁論終結 <input type="checkbox"/> 判決書原本に基づき判決言渡し <input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> 出頭当事者の結果陳述 弁論準備手続 <input type="checkbox"/> 続行 <input type="checkbox"/> 延期 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 証拠関係別紙のとおり <input type="checkbox"/> その他の記載は別紙のとおり		指定期日 平成 年 月 日 午前 午後 時 分 <input type="checkbox"/> (判決言渡) <input type="checkbox"/> 弁論準備 <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/>	
		裁判所書記官	

(注) 1 該当する事項の□に認印する。

2 この調書に符号を使用したときは、事件記録の表紙による。選択事項については○で囲む方法により選択する。

弁論の要領等 (続)

事件の表示	平成 年 ( ) 第 号	裁判官 認 印	
第 回 弁 論 準 備 手 続 調 書			
場 所 等	東京地方裁判所 民事第 部 準備手続室 ( <input type="checkbox"/> 電話会議の方法による)	期 日	平成 年 月 日 午前 午後 時 分
裁 判 官	末尾記載の裁判所書記官	出頭した当事者等	原告等 (電話番号 )
裁判所書記官		被告等 (電話番号 )	
当 事 者 の 陳 述 等			
原告等		被告等	
<input type="checkbox"/> 訴状 (代わる準備書面) 陳述 - <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 附帯請求起算日 平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 訴状訂正 (訴え変更) 申立書 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 答弁書陳述 - <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 請求棄却申立て <input type="checkbox"/> 請求原因事実は認める。 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>	
裁 判 所			
<input type="checkbox"/> 弁論準備手続終結 <input type="checkbox"/> 弁論準備手続取消し <input type="checkbox"/> 付自庁調停 <input type="checkbox"/> 和解勧告 <input type="checkbox"/> 和解続行 <input type="checkbox"/> 和解打ち切り <input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> 続行 <input type="checkbox"/> 延期 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 証拠関係別紙のとおり <input type="checkbox"/> その他の記載は別紙のとおり		指定期日 平成 年 月 日 午前 午後 時 分 <input type="checkbox"/> 口頭弁論 <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/>	
		裁判所書記官	

(注) 1 該当する事項の□に認印する。

2 この調書に符号を使用したときは、事件記録の表紙による。選択事項については○で囲む方法により選択する。

事件の表示	平成 年 ( ) 第 号	裁判長 認 印	
第 回 弁 論 準 備 手 続 調 書			
場 所 等	東京地方裁判所 民事第 部準備手続室 ( <input type="checkbox"/> 電話会議の方法による)	期 日	平成 年 月 日 午前 午後 時 分
裁判長裁判官 裁 判 官 裁 判 官 裁判所書記官	末尾記載の裁判所書記官	出頭した当事者等	原告等 (電話番号 )
			被告等 (電話番号 )
当 事 者 の 陳 述 等			
原告等		被告等	
<input type="checkbox"/> 訴状(代わる準備書面)陳述- <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 附帯請求起算日 平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 訴状訂正(訴え変更)申立書( . . 付)陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . 付)陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . 付)陳述 <input type="checkbox"/> .		<input type="checkbox"/> 答弁書陳述- <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 請求棄却申立て <input type="checkbox"/> 請求原因事実は認める。 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . 付)陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . 付)陳述 <input type="checkbox"/>	
裁 判 所			
<input type="checkbox"/> 弁論準備手続終結 <input type="checkbox"/> 弁論準備手続取消し <input type="checkbox"/> 付自庁調停 <input type="checkbox"/> 和解勧告 <input type="checkbox"/> 和解続行 <input type="checkbox"/> 和解打切り <input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> 続行 <input type="checkbox"/> 延期 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 証拠関係別紙のとおり <input type="checkbox"/> その他の記載は別紙のとおり		指定期日 平成 年 月 日 午前 午後 時 分 <input type="checkbox"/> 口頭弁論 <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/>	
		裁判所書記官	

(注) 1 該当する事項の□に認印する。

2 この調書に符号を使用したときは、事件記録の表紙による。選択事項については○で囲む方法により選択する。

事件の表示	平成 年 ( ) 第 号	裁判官 認 印	
第 回 弁 論 準 備 手 続 調 書			
場 所 等	東京地方裁判所 民事第 部準備手続室 ( <input type="checkbox"/> 電話会議の方法による)	期 日	平成 年 月 日 午前 午後 時 分
受 命 裁 判 官	末尾記載の裁判所書記官	出頭した当事者等	原告等 (電話番号 )
裁判所書記官		被告等 (電話番号 )	
当 事 者 の 陳 述 等			
原告等		被告等	
<input type="checkbox"/> 訴状(代わる準備書面)陳述- <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 附帯請求起算日 平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 訴状訂正(訴え変更)申立書( . . 付)陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . 付)陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . 付)陳述 <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 答弁書陳述- <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 請求棄却申立て <input type="checkbox"/> 請求原因事実は認める。 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . 付)陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . 付)陳述 <input type="checkbox"/>	
裁 判 所			
<input type="checkbox"/> 弁論準備手続終結 <input type="checkbox"/> 和解勧告 <input type="checkbox"/> 和解続行 <input type="checkbox"/> 和解打切り <input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> 続行 <input type="checkbox"/> 延期 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 証拠関係別紙のとおり <input type="checkbox"/> その他の記載は別紙のとおり		指定期日 平成 年 月 日 午前 午後 時 分  裁判所書記官	

(注) 1 該当する事項の□に認印する。

2 この調書に符号を使用したときは、事件記録の表紙による。選択事項については○で囲む方法により選択する。

事件の表示	平成 年 ( ) 第 号	裁判官 認 印		
第 回 弁 論 準 備 手 続 調 書				
場 所 等	東京地方裁判所 民事第 部準備手続室 ( <input type="checkbox"/> 電話会議の方法による)	期 日	平成 年 月 日 午前 午後 時 分	
受 命 裁 判 官	末尾記載の裁判所書記官	出頭した当事者等	原告等	(電話番号 )
受 命 裁 判 官			被告等	(電話番号 )
裁 判 所 書 記 官				
当 事 者 の 陳 述 等				
原告等		被告等		
<input type="checkbox"/> 訴状(代わる準備書面) 陳述 - <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 附帯請求起算日 平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 訴状訂正(訴え変更) 申立書( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 答弁書陳述 - <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 請求棄却申立て <input type="checkbox"/> 請求原因事実は認める。 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>		
裁 判 所				
<input type="checkbox"/> 弁論準備手続終結 <input type="checkbox"/> 和解勧告 <input type="checkbox"/> 和解続行 <input type="checkbox"/> 和解打切り <input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> 続行 <input type="checkbox"/> 延期 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 証拠関係別紙のとおり <input type="checkbox"/> その他の記載は別紙のとおり		指定期日 平成 年 月 日 午前 午後 時 分		
		裁判所書記官		

(注) 1 該当する事項の□に認印する。

2 この調書に符号を使用したときは、事件記録の表紙による。選択事項については○で囲む方法により選択する。

当事者の陳述等 (続)

## 手続・期日 経過表

平成	年 ( ) 第	号	東京地方裁判所民事第 部
----	---------	---	--------------

	裁判長(官)印		書記官印	
手続(期日)の種類	<input type="checkbox"/> 書面による準備手続(電話会議) <input type="checkbox"/> 進行協議期日 <input type="checkbox"/> 和解期日			
日時・場所等	平成 年 月 日 午前・午後 時 分 <input type="checkbox"/> 準備手続室 <input type="checkbox"/> 和解室 <input type="checkbox"/> ラウンド法廷 ( 号) <input type="checkbox"/> 電話会議の方法による			
出頭した当事者等(電話番号)				
手続(期日)の要領	<input type="checkbox"/> 延期 <input type="checkbox"/> 続行 <input type="checkbox"/> 和解打切り			
指定期日・期日の種類等	平成 年 月 日 午前・午後 時 分 <input type="checkbox"/> 口頭弁論 ( <input type="checkbox"/> 準備的) <input type="checkbox"/> 弁論準備手続 ( <input type="checkbox"/> 電話会議) <input type="checkbox"/> 電話会議の方法での書面による準備手続 <input type="checkbox"/> 進行協議期日 ( <input type="checkbox"/> 電話会議) <input type="checkbox"/> 和解期日			

	裁判長(官)印		書記官印	
手続(期日)の種類	<input type="checkbox"/> 書面による準備手続(電話会議) <input type="checkbox"/> 進行協議期日 <input type="checkbox"/> 和解期日			
日時・場所等	平成 年 月 日 午前・午後 時 分 <input type="checkbox"/> 準備手続室 <input type="checkbox"/> 和解室 <input type="checkbox"/> ラウンド法廷 ( 号) <input type="checkbox"/> 電話会議の方法による			
出頭した当事者等(電話番号)				
手続(期日)の要領	<input type="checkbox"/> 延期 <input type="checkbox"/> 続行 <input type="checkbox"/> 和解打切り			
指定期日・期日の種類等	平成 年 月 日 午前・午後 時 分 <input type="checkbox"/> 口頭弁論 ( <input type="checkbox"/> 準備的) <input type="checkbox"/> 弁論準備手続 ( <input type="checkbox"/> 電話会議) <input type="checkbox"/> 電話会議の方法での書面による準備手続 <input type="checkbox"/> 進行協議期日 ( <input type="checkbox"/> 電話会議) <input type="checkbox"/> 和解期日			

(注) この経過表に符号を使用したときは、事件記録の表紙による。該当する事項の□に√を付する。

(証人等調書)

<input type="checkbox"/> 証人 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 鑑定人 <input type="checkbox"/> 調書 (この調書は、第 第 回口頭弁論調書と一体となるものである。)		裁判所書記官印
事 件 の 表 示	平成 年 ( ) 第 号	
期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分	
氏 名		
年 齢		
住 所		
宣誓その他の状況	<input type="checkbox"/> 裁判長(官)は、宣誓の趣旨を説明し、 <input type="checkbox"/> 証人が偽証した場合の罰を <input type="checkbox"/> 本人が虚偽の陳述をした場合の制裁を <input type="checkbox"/> 鑑定人が虚偽の鑑定をした場合の罰を 告げ、別紙宣誓書を読み上げさせてその誓いをさせた。 <input type="checkbox"/> 裁判長(官)は、さきにした宣誓の効力を維持する旨告げた。 <input type="checkbox"/> 後に尋問されることになっている証人は <input type="checkbox"/> 在廷しない。 <input type="checkbox"/> 裁判長(官)の許可を得て在廷した。 <input type="checkbox"/>	
陳 述 の 要 領		

- (注) 1 該当する事項の□にレを付する。  
2 「陳述の要領」の記載の末尾に「以上」と記載する。

(証人等調書)

<input type="checkbox"/> 証人 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 鑑定人 <input type="checkbox"/> 調書 (この調書は、第 第 回口頭弁論調書と一体となるものである。)		裁判所書記官印
事 件 の 表 示	平成 年 ( ) 第 号	
期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分	
氏 名		
年 齢		
住 所		
宣誓その他の状況	<input type="checkbox"/> 裁判長(官)は、宣誓の趣旨を説明し、 <input type="checkbox"/> 証人が偽証した場合の罰を <input type="checkbox"/> 本人が虚偽の陳述をした場合の制裁を <input type="checkbox"/> 鑑定人が虚偽の鑑定をした場合の罰を 告げ、別紙宣誓書を読み上げさせてその誓いをさせた。 <input type="checkbox"/> 裁判長(官)は、さきにした宣誓の効力を維持する旨告げた。 <input type="checkbox"/> 後に尋問されることになっている証人は <input type="checkbox"/> 在廷しない。 <input type="checkbox"/> 裁判長(官)の許可を得て在廷した。 <input type="checkbox"/>	
陳 述 の 要 領		
<input type="checkbox"/> 別紙速記録のとおり <input type="checkbox"/> 別紙反訳書のとおり <input type="checkbox"/> 別紙記載のとおり		
以 上		

- (注) 1 該当する事項の□にレを付する。  
2 「陳述の要領」の記載の末尾に「以上」と記載する。

事件の表示	平成 年 (レ) 第 号	裁判長 認 印	
第 回 口 頭 弁 論 調 書 (□準備的)			
場所及び公開の有無	東京地方裁判所 民事第 部法廷で公開	期 日	平成 年 月 日 午前 午後 時 分
裁判長裁判官 裁判官 裁判官 裁判所書記官	末尾記載の裁判所書記官	出頭した 当事者等	控訴人等 被控訴人等
弁 論 の 要 領 等			
控 訴 人 等		被 控 訴 人 等	
<input type="checkbox"/> 控訴状陳述 - <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 控訴理由書陳述 - <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 附帯控訴棄却申立て <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 答弁書陳述 - <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 控訴棄却申立て <input type="checkbox"/> 附帯控訴状陳述 - <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>	
裁 判 所			
付 <input type="checkbox"/> 弁論準備手続 <input type="checkbox"/> 書面による準備手続 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 和解勧告 <input type="checkbox"/> 和解続行 <input type="checkbox"/> 和解打ち切り <input type="checkbox"/> 受命裁判官を と指定 <input type="checkbox"/> 弁論終結 <input type="checkbox"/> 判決書原本に基づき判決言渡し <input type="checkbox"/>			
原判決記載のとおり 原審口頭弁論 <input type="checkbox"/> 出頭当事者口頭弁論の結果陳述 弁論準備手続 <input type="checkbox"/> 続行 <input type="checkbox"/> 延期 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 証拠関係別紙のとおり <input type="checkbox"/> その他の記載は別紙のとおり		指定期日 平成 年 月 日 午前 午後 時 分 <input type="checkbox"/> (判決言渡) <input type="checkbox"/> 弁論準備 <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/>	
		裁判所書記官	

(注) 1 該当する事項の□に認印する。

2 この調書に符号を使用したときは、事件記録の表紙による。選択事項については○で囲む方法により選択する。

事件の表示	平成 年 (レ) 第 号	裁判長 認 印	
第 回 弁 論 準 備 手 続 調 書			
場 所 等	東京地方裁判所 民事第 部準備手続室 ( <input type="checkbox"/> 電話会議の方法による)	期 日	平成 年 月 日 午前 午後 時 分
裁判長 裁判官	末尾記載の裁判所書記官	出頭した当事者等	控訴人等 (電話番号 )
裁判官			被控訴人等 (電話番号 )
裁判官			
裁判所書記官			
当 事 者 の 陳 述 等			
控 訴 人 等		被 控 訴 人 等	
<input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>	
裁 判 所			
<input type="checkbox"/> 弁論準備手続終結 <input type="checkbox"/> 弁論準備手続取消し <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 和解勧告 <input type="checkbox"/> 和解続行 <input type="checkbox"/> 和解打切り <input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> 続行 <input type="checkbox"/> 延期 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 証拠関係別紙のとおり <input type="checkbox"/> その他の記載は別紙のとおり		指定期日 平成 年 月 日 午前 午後 時 分 <input type="checkbox"/> 口頭弁論 <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/>	
		裁判所書記官	

(注) 1 該当する事項の□に認印する。

2 この調書に符号を使用したときは、事件記録の表紙による。選択事項については○で囲む方法により選択する。

事件の表示	平成 年 (レ) 第 号	裁判官 認 印	
第 回 弁 論 準 備 手 続 調 書			
場 所 等	東京地方裁判所 民事第 部準備手続室 ( <input type="checkbox"/> 電話会議の方法による)	期 日	平成 年 月 日 午前 午後 時 分
受 命 裁 判 官	末尾記載の裁判所書記官	出頭した当事者等	(電話番号 )
裁 判 所 書 記 官		控訴人等 被控訴人等	(電話番号 )
当 事 者 の 陳 述 等			
控 訴 人 等		被 控 訴 人 等	
<input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>	
裁 判 所			
<input type="checkbox"/> 弁論準備手続終結 <input type="checkbox"/> 和解勧告 <input type="checkbox"/> 和解続行 <input type="checkbox"/> 和解打切り <input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> 続行 <input type="checkbox"/> 延期 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 証拠関係別紙のとおり <input type="checkbox"/> その他の記載は別紙のとおり		指定期日 平成 年 月 日 午前 午後 時 分	
		裁判所書記官	

(注) 1 該当する事項の□に認印する。

2 この調書に符号を使用したときは、事件記録の表紙による。選択事項については○で囲む方法により選択する。

事件の表示	平成 年 (レ) 第 号	裁判官 認 印		
第 回 弁 論 準 備 手 続 調 書				
場 所 等	東京地方裁判所 民事第 部準備手続室 (□電話会議の方法による)	期 日	平成 年 月 日 午前 午後 時 分	
受 命 裁 判 官	末尾記載の裁判所書記官	出頭した当事者等	控訴人等	(電話番号 )
受 命 裁 判 官			被控訴人等	(電話番号 )
裁 判 所 書 記 官				
当 事 者 の 陳 述 等				
控 訴 人 等		被 控 訴 人 等		
<input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/> 準備書面 ( . . 付) 陳述 <input type="checkbox"/>		
裁 判 所				
<input type="checkbox"/> 弁論準備手続終結 <input type="checkbox"/> 和解勧告 <input type="checkbox"/> 和解続行 <input type="checkbox"/> 和解打ち切り <input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> 続行 <input type="checkbox"/> 延期 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 証拠関係別紙のとおり <input type="checkbox"/> その他の記載は別紙のとおり		指定期日 平成 年 月 日 午前 午後 時 分		
		裁判所書記官		

(注) 1 該当する事項の□に認印する。

2 この調書に符号を使用したときは、事件記録の表紙による。選択事項については○で囲む方法により選択する。

(簡略調書様式・即日判決言渡用)

事件の表示	平成 年 ( ) 第 号	裁判官 認 印	
第 回 口 頭 弁 論 調 書 (判決)			
場所及び公開の有無	東京地方裁判所 民事第 部法廷で公開	期日	平成 年 月 日午前・午後 時 分
裁判官		出頭した当事者等	
裁判所書記官	末尾記載の裁判所書記官		
弁論の要領等 (ただし、該当事項欄□に認印をしたものに限る。)			
原告等		被告等	
<input type="checkbox"/> 訴状 (代わる準備書面) 陳述- <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 附帯請求起算日 平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 訴状訂正 (訴え変更) 申立書 (平成 年 月 日付け) 陳述 <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 答弁書陳述- <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 請求棄却申立て <input type="checkbox"/> 請求原因事実は認める。 <input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 証拠関係は書証目録記載のとおり		<input type="checkbox"/> 証拠関係は証人等目録記載のとおり	
裁判官 弁論を終結し、次のとおり主文及び理由の要旨を告げて判決言渡し			
当事者	<input type="checkbox"/> 別紙訴状 (代わる準備書面) 写しの当事者欄記載のとおり <input type="checkbox"/> 別紙当事者目録記載のとおり		
主 文	<input type="checkbox"/> 別紙訴状 (代わる準備書面) 写しの請求の趣旨記載のとおり <input type="checkbox"/> この判決は仮に執行することができる。 <input type="checkbox"/> 別紙主文記載のとおり		
請 求	<input type="checkbox"/> 別紙訴状 (代わる準備書面) 写しの請求の趣旨及び請求の原因欄記載のとおり <input type="checkbox"/> 訴状送達の日翌日は、平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 別紙準備書面 (平成 年 月 日付け) 写し記載のとおり <input type="checkbox"/> 別紙請求記載のとおり		
理由の要旨	<input type="checkbox"/> 被告 は、本件口頭弁論期日に出頭せず、答弁書その他の準備書面を提出しない。したがって、被告 において請求原因事実を争うことを明らかにしないものとして、これを自白したものとみなす。 <input type="checkbox"/> 被告 は、請求棄却の判決を求め、請求原因事実は認めると述べた。 <input type="checkbox"/> 被告 は、公示送達による呼出しを受けたが、本件口頭弁論期日に出頭しない。証拠によれば、請求原因事実はすべて認められる。 <input type="checkbox"/> 別紙理由の要旨記載のとおり		
裁判所書記官			

(簡略調書様式・後日判決言渡用)

事件の表示	平成 年 ( ) 第 号	裁判官 認 印	
第 回 口 頭 弁 論 調 書 (判決)			
場所及び公開の有無	東京地方裁判所 民事第 部法廷で公開	期日	平成 年 月 日 午前 午後 時 分
裁判官		出頭した当事者等	
裁判所書記官			
弁論の要領等 (ただし、該当事項欄□に認印をしたものに限る。)			
裁判官 次のおとり主文及び理由の要旨を告げて判決言渡し			
当事者	<input type="checkbox"/> 別紙訴状 (代わる準備書面) 写しの当事者欄記載のおとり <input type="checkbox"/> 別紙当事者目録記載のおとり		
主 文	<input type="checkbox"/> 別紙訴状 (代わる準備書面) 写しの請求の趣旨記載のおとり <input type="checkbox"/> この判決は仮に執行することができる。 <input type="checkbox"/> 別紙主文記載のおとり		
請 求	<input type="checkbox"/> 別紙訴状 (代わる準備書面) 写しの請求の趣旨及び請求の原因欄記載のおとり <input type="checkbox"/> 訴状送達の日翌日は、平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 別紙準備書面 (平成 年 月 日付け) 写し記載のおとり <input type="checkbox"/> 別紙請求記載のおとり		
理由の要旨	<input type="checkbox"/> 被告 は、本件口頭弁論期日に出頭せず、答弁書その他の準備書面を提出しない。したがって、被告 において請求原因事実を争うことを明らかにしないものとして、これを自白したものとみなす。 <input type="checkbox"/> 被告 は、請求棄却の判決を求め、請求原因事実を認めると述べた。 <input type="checkbox"/> 被告 は、公示送達による呼出しを受けたが、本件口頭弁論期日に出頭しない。証拠によれば、請求原因事実をすべて認められる。 <input type="checkbox"/> 別紙理由の要旨記載のおとり		
弁論終結日	平成 年 月 日		
裁判所書記官			

(簡略調書様式・即日判決言渡用)

事件の表示	平成 年 ( ) 第 号	裁判長 認 印	
第 回 口 頭 弁 論 調 書 (判決)			
場所及び公開の有無	東京地方裁判所 民事第 部法廷で公開	期日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
裁判長 裁判官 裁判官 裁判所書記官	末尾記載の裁判所書記官	出頭した 当事者等	
弁論の要領等 (ただし、該当事項欄□に認印をしたものに限る。)			
原告等		被告等	
<input type="checkbox"/> 訴状 (代わる準備書面) 陳述- <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 附帯請求起算日 平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 訴状訂正 (訴え変更) 申立書 (平成 年 月 日付け) 陳述 <input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> 答弁書陳述 - <input type="checkbox"/> 擬制 <input type="checkbox"/> 請求棄却申立て <input type="checkbox"/> 請求原因事実は認める。 <input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 証拠関係は書証目録記載のとおり		<input type="checkbox"/> 証拠関係は証人等目録記載のとおり	
裁判長 弁論を終結し、次のとおり主文及び理由の要旨を告げて判決言渡し			
当事者	<input type="checkbox"/> 別紙訴状 (代わる準備書面) 写しの当事者欄記載のとおり <input type="checkbox"/> 別紙当事者目録記載のとおり		
主 文	<input type="checkbox"/> 別紙訴状 (代わる準備書面) 写しの請求の趣旨記載のとおり <input type="checkbox"/> この判決は仮に執行することができる。 <input type="checkbox"/> 別紙主文記載のとおり		
請 求	<input type="checkbox"/> 別紙訴状 (代わる準備書面) 写しの請求の趣旨及び請求の原因欄記載のとおり <input type="checkbox"/> 訴状送達の日翌日は、平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 別紙準備書面 (平成 年 月 日付け) 写し記載のとおり <input type="checkbox"/> 別紙請求記載のとおり		
理由の要旨	<input type="checkbox"/> 被告 は、本件口頭弁論期日に出頭せず、答弁書その他の準備書面を提出しない。したがって、被告 において請求原因事実を争うことを明らかにしないものとして、これを自白したものとみなす。 <input type="checkbox"/> 被告 は、請求棄却の判決を求め、請求原因事実は認めると述べた。 <input type="checkbox"/> 被告 は、公示送達による呼出しを受けたが、本件口頭弁論期日に出頭しない。証拠によれば、請求原因事実はすべて認められる。 <input type="checkbox"/> 別紙理由の要旨記載のとおり		
裁判所書記官			

(簡略調書様式・後日判決言渡用)

事件の表示	平成 年 ( ) 第 号	裁判長 認 印	
第 回 口 頭 弁 論 調 書 (判決)			
場所及び公開の有無	東京地方裁判所 民事第 部法廷で公開	期 日	平成 年 月 日午前・午後 時 分
裁判長裁判官 裁 判 官 裁 判 官 裁判所書記官	末尾記載の裁判所書記官	出 頭 し た 当 事 者 等	
弁論の要領等 (ただし、該当事項欄□に認印をしたものに限る。)			
裁判長 次のとおり主文及び理由の要旨を告げて判決言渡し			
当 事 者	<input type="checkbox"/> 別紙訴状 (代わる準備書面) 写しの当事者欄記載のとおり <input type="checkbox"/> 別紙当事者目録記載のとおり		
主 文	<input type="checkbox"/> 別紙訴状 (代わる準備書面) 写しの請求の趣旨記載のとおり <input type="checkbox"/> この判決は仮に執行することができる。 <input type="checkbox"/> 別紙主文記載のとおり		
請 求	<input type="checkbox"/> 別紙訴状 (代わる準備書面) 写しの請求の趣旨及び請求の原因欄記載のとおり <input type="checkbox"/> 訴状送達の日翌日は、平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 別紙準備書面 (平成 年 月 日付け) 写し記載のとおり <input type="checkbox"/> 別紙請求記載のとおり		
理由の要旨	<input type="checkbox"/> 被告 は、本件口頭弁論期日に出頭せず、答弁書その他の準備書面を提出しない。したがって、被告 において請求原因事実を争うことを明らかにしないものとして、これを自白したものとみなす。 <input type="checkbox"/> 被告 は、請求棄却の判決を求め、請求原因事実は認めると述べた。 <input type="checkbox"/> 被告 は、公示送達による呼出しを受けたが、本件口頭弁論期日に出頭しない。証拠によれば、請求原因事実はすべて認められる。 <input type="checkbox"/> 別紙理由の要旨記載のとおり		
弁論終結日	平成 年 月 日		
裁判所書記官			

(和解条項案提示書)

平成 年(ワ)第 号 請求事件  
原 告  
被 告

上記事件について、当裁判所(※1受命裁判官、※2受託裁判官)は、民事訴訟法第264条により別紙のとおり和解条項案を提示する。

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部

裁 判 官

(※1の場合は、当裁判所受命裁判官 ※2の場合は、当裁判所受託裁判官)

付 記

別紙和解条項案を受諾する旨の書面が提出され、相手方が次回口頭弁論等の期日に出頭してその和解条項案を受諾したときは、当事者間に和解が調ったものとみなされる。

(和解条項案の提示について)

平成 年(ワ)第 号

原告

被告

## 和解条項案の提示について

平成 年 月 日

殿

〒100-8920東京都千代田区霞ヶ関1丁目1番4号

東京地方裁判所民事第 部 係

裁判所書記官 (担当)

職印

電話 03-3581-

(ダイヤルイン)

FAX 03-3581-

上記事件について、民事訴訟法第264条による和解条項案を送付します。

あなたが、別紙和解条項案のとおり和解が成立することに同意して、別添の和解条項案受諾書を当裁判所に提出し、さらに、相手方が次回口頭弁論等の期日(平成 年 月 日午前・午後 時 分)に出頭してこの和解条項案を受諾した場合には、あなたが出頭されなくても、その受諾のときに和解が成立したものとみなされることとなります。

つきましては、この和解条項案で合意してもよいという場合には、別添の和解条項案受諾書にあなた自身が署名し、印鑑登録された印鑑による押印の上、印鑑登録証明書(1通)を添えて、平成 年 月 日までに当裁判所あてに返送又は送信してください。

別紙の和解条項案では合意できないという場合には、その旨を記載した書面を当裁判所あてに送付又は送信し、上記の次回口頭弁論等の期日に出頭してください。

なお、本手続について不明な点があれば、担当書記官まで連絡してください。

(和解条項案受諾書)

平成 年(ワ)第 号

原 告

被 告

和解条項案受諾書

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 係 御中

〒

住 所

電 話

氏 名

印

私は、上記事件について提示された平成 年 月 日付け和解条項案を受諾します。

※署名押印は、必ず、あなた自身でしてください。

なお、押印は、印鑑登録印（実印）を用い、その印鑑登録証明書を添付してください。

事件番号 平成 年(ワ)第 号

原告

被告

## 口頭弁論期日呼出状・答弁書催告書

平成 年 月 日

殿

東京地方裁判所民事第 部 係

裁判所書記官

TEL 03-3581- (ダイヤルイン)

FAX 03- -

原告 から訴状が提出されました。

期日は平成 年 月 日午 時 分と定められましたから、  
同期日に当裁判所民事第 号法廷（ 階）に出頭してください。

なお、訴状を送達しますから、平成 年 月 日までに答弁書  
を提出してください。

(出頭の際には、この呼出状を法廷で示してください。)

事件番号 平成 年(レ)第 号

控 訴 人

被控訴人

## 口頭弁論期日呼出状・答弁書催告書

平成 年 月 日

殿

東京地方裁判所民事第 部合議 係

裁判所書記官

TEL 03-3581- (ダイヤルイン)

FAX 03- -

控訴人 から控訴状が提出されました。

期日は平成 年 月 日午 時 分と定められましたから、  
同期日に当裁判所民事第 号法廷（ 階）に出頭してください。

なお、控訴状を送達しますから、平成 年 月 日までに答弁  
書を提出してください。

(出頭の際には、この呼出状を法廷で示してください。)

事件番号 平成 年(ワ)第 号

原告

被告

## 口頭弁論期日呼出状・答弁書催告書

平成 年 月 日

殿

東京地方裁判所民事第 部 係

裁判所書記官

TEL 03-3581- (ダイヤルイン)

FAX 03- -

期日は平成 年 月 日午 時 分と定められましたから、  
同期日に当裁判所民事第 号法廷（ 階）に出頭してください。

なお、本件は、東京簡易裁判所平成 年(ロ)第 号支払督促  
に対するあなたからの督促異議申立てにより訴訟に移行したものです。  
同封の準備書面に記載されている請求の趣旨及び原因に対する答弁書を、  
平成 年 月 日までに提出してください。

(出頭の際には、この呼出状を法廷で示してください。)

事件番号 平成 年(ワ)第 号

原告

被告

## 期 日 呼 出 状

平成 年 月 日

殿

東京地方裁判所民事第 部 係

裁判所書記官

TEL 03-3581- (ダイヤルイン)

FAX 03- -

期日は、平成 年 月 日午 時 分と定められましたから、同期日に当裁判所 ( 階) に出頭してください。

(出頭の際には、この呼出状を上記出頭場所で示してください。)

事件番号 平成 年(レ)第 号

控 訴 人

被控訴人

## 期 日 呼 出 状

平成 年 月 日

殿

東京地方裁判所民事第 部 係

裁判所書記官

TEL 03-3581- (ダイヤルイン)

FAX 03- -

期日は、平成 年 月 日午 時 分と定められましたから、同期日に当裁判所 ( 階)に出頭してください。

(出頭の際には、この呼出状を上記出頭場所を示してください。)

期日の簡易呼出表

		事件番号	平成	年 ( ) 第	号
期日の種別	<input type="checkbox"/> 口頭弁論 (口判決言渡) <input type="checkbox"/> 準備的口頭弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備手続 <input type="checkbox"/> 証拠調べ <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/>		期日	平成	年 月 日 午前・午後 時 分
被呼出者	<input type="checkbox"/> 原告 <input type="checkbox"/> 被告 <input type="checkbox"/>	呼出方法	<input type="checkbox"/> 封書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ファクシミリ		
あて所	<input type="checkbox"/> 訴状記載の住所 <input type="checkbox"/> 送達場所届出書記載の場所 <input type="checkbox"/> 上申書 ( . . . 付け) 記載の住所 <input type="checkbox"/>				
呼出手続をした日	平成	年	月	日	裁判所書記官印
期日の種別	<input type="checkbox"/> 口頭弁論 (口判決言渡) <input type="checkbox"/> 準備的口頭弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備手続 <input type="checkbox"/> 証拠調べ <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/>		期日	平成	年 月 日 午前・午後 時 分
被呼出者	<input type="checkbox"/> 原告 <input type="checkbox"/> 被告 <input type="checkbox"/>	呼出方法	<input type="checkbox"/> 封書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ファクシミリ		
あて所	<input type="checkbox"/> 訴状記載の住所 <input type="checkbox"/> 送達場所届出書記載の場所 <input type="checkbox"/> 上申書 ( . . . 付け) 記載の住所 <input type="checkbox"/>				
呼出手続をした日	平成	年	月	日	裁判所書記官印
期日の種別	<input type="checkbox"/> 口頭弁論 (口判決言渡) <input type="checkbox"/> 準備的口頭弁論 <input type="checkbox"/> 弁論準備手続 <input type="checkbox"/> 証拠調べ <input type="checkbox"/> 和解 <input type="checkbox"/>		期日	平成	年 月 日 午前・午後 時 分
被呼出者	<input type="checkbox"/> 原告 <input type="checkbox"/> 被告 <input type="checkbox"/>	呼出方法	<input type="checkbox"/> 封書 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> ファクシミリ		
あて所	<input type="checkbox"/> 訴状記載の住所 <input type="checkbox"/> 送達場所届出書記載の場所 <input type="checkbox"/> 上申書 ( . . . 付け) 記載の住所 <input type="checkbox"/>				
呼出手続をした日	平成	年	月	日	裁判所書記官印

(注) 該当する事項の□にレ付する。

平成 年 (ワ) 第 号 請求事件 直送済  
原告  
被告

## 証拠申出書

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 係 御中

原告訴訟代理人弁護士

印

### 第1 証人尋問の申出

#### 1 証人の表示

(住所)

〒

東京都

氏名

(呼出し・主尋問 分)

#### 2 立証の趣旨

(1) 被告の乙川明子に対する連帯保証契約締結の代理権授与の事実

(2) 被告の追認の事実

#### 3 尋問事項

別紙1 尋問事項記載のとおり

### 第2 本人尋問の申出

#### 1 原告本人の表示

東京都

氏名

(同行・主尋問 分)

2 立証の趣旨

- (1) 被告の乙川明子に対する連帯保証契約締結の代理権授与の事実
- (2) 被告の追認の事実
- (3) 乙川明子が原告に交付した50万円が不動産売却の謝礼として支払われた  
事実

3 尋問事項

別紙2尋問事項記載のとおり

以上

別紙1

尋 問 事 項 (証人 )

- 1 原告と乙川明子が知り合った経緯
- 2 明子が本件借入れを申し込んだのはいつか。
- 3 原告は、それに対し、どう応答したか。
- 4 明子は、原告に対し、被告の連帯保証についてどのように話したか。
- 5 明子は、原告に対し、本件連帯保証につき被告が承諾していると言ったか。
- 6 その際、明子は、被告の実印と印鑑登録証明書を持参していたか。明子は、被告の実印と印鑑登録証明書をどのようにして入手したか。
- 7 その際、明子は、被告の勤務先と電話番号を原告に教えたか。
- 8 その際、原告は、被告に確認のために電話すると言っていなかったか。
- 9 ▽▽司法書士事務所で話合いをした際、被告は、原告に本件連帯保証につきどのような責任を取ると言ったか。
- 10 その際、被告は、返済方法につきどのように言ったか。
- 11 明子が50万円を原告に交付した趣旨は、どのようなものであったか。
- 12 明子は、50万円を原告に交付したことをいつ被告に話したか。
- 13 ▽▽事務所での話合いの際、明子が50万円の交付につき被告に話さなかったとすれば、その理由は何か。
- 14 その他、これらに関連する一切の事項

以 上

別紙 2

尋 問 事 項 (原告本人 )

- 1 原告と明子は、どのようなきっかけで知り合ったか。
- 2 明子が本件借入れを申し込んだのはいつか。
- 3 原告は、それに対し、どう応答したか。
- 4 明子は、原告に対し、被告の連帯保証についてどのように話していたか。
- 5 明子は、原告に対し、被告からの連帯保証の代理権授与につきどのように言っていたか。
- 6 その際、明子は、被告の実印と印鑑登録証明書を持参していたか。
- 7 その際、明子は、被告の勤務先と電話番号を原告に教えたか。
- 8 原告は、いつ、どの場所に、どのような確認の電話を被告にしたか。
- 9 原告からの電話確認に対し、被告は、どのように答えたか。
- 10 ▽▽司法書士事務所で話合いをした際、被告は、原告に本件借入れにつきどのような責任を取ると言ったか。
- 11 その際、被告は、返済方法につきどのように言っていたか。
- 12 原告が明子から50万円を受け取った趣旨は、どのようなものであったか。
- 13 その他、これらに関連する一切の事項

以 上

平成 年(ワ)第 号  
原 告  
被 告

送 付 嘱 託 書

平成 年 月 日

殿

〒100 - 8920

東京都千代田区霞が関1丁目1番4号

東京地方裁判所民事第 部 係

電 話 03 - 3581 - (ダイヤルイン)

F A X 03 - -

裁判所書記官

上記事件について、民事訴訟法226条により※、別紙表示の書類等を送付して下さるよう嘱託します。

次回期日は平成 年 月 日ですので、当日の 週間前（又は 月 日）までには到着するよう配慮してください。

なお、文書の送付費用として、郵券 円分を同封します。

※同封の「送付嘱託について（説明）」を併せてお読みください。

## 送付嘱託について(説明)

東京地方裁判所民事部

◇ 民事訴訟では、裁判の証拠として必要な文書を第三者が所持している場合には、文書の所持者に対して、その文書を裁判所に送付(提出)するよう求めることができます(民事訴訟法第226条)。これを送付嘱託といいます。

裁判所は、訴訟当事者の申立てを受けて、真実発見などのためその文書を証拠とすることが必要であると判断したものについて、送付嘱託をしています。

◇ なお、個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)では、「あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供してはならない。」(第23条1項)と定められていますので、文書を裁判所に送付しても大丈夫だろうかとの心配があるかもしれません。しかし、同時に、個人情報保護法では、「法令に基づく場合」には、その例外となることが定められており、本人の同意は必要ではありません。もちろん、今回の送付嘱託は、民事訴訟法226条に基づいて裁判所がしているものですから、「法令に基づく場合」に該当します。したがって、今回送付を求めている文書に何らかの個人データが含まれている場合でも、個人情報保護法によって問題が生じることはありません。

◇ この嘱託に応じて裁判所に文書を送付していただくことは、公正かつ妥当な裁判を実現するために重要なことですから、文書の送付について、ご理解とご協力をお願いいたします。

---

### ○民事訴訟法 第226条

書証の申出は、第219条の規定にかかわらず、文書の所持者にその文書の送付を嘱託することを申し立ててすることができる。(以下略)

### ○個人情報の保護に関する法律 第23条

個人情報取扱事業者は、次に掲げる場合を除くほか、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供してはならない。

- 一 法令に基づく場合  
(以下略)

平成19年11月7日

## 文書送付嘱託関係のモデル書式について(案)

東京地方裁判所民事部 プラクティス委員会

### 1 モデル書式の必要性

文書送付嘱託は、裁判所が文書の所持者に対してその文書の送付を嘱託し、これに応じて送付されてきた文書を証拠とするもの(民訴法226条)であり、その性質については争いがあるものの、現在の実務で頻繁に利用され、真実に基づく民事裁判の実現のために重要な役割を担っている。ところが、裁判所が実際に文書送付嘱託をすると、嘱託先から裁判所(書記官)に対して、申立代理人の連絡先はどこか、どのような事案なのか、なぜ送付しなければならないのか、送付するとどのような役に立つのか、個人情報保護法に反するのではないかなど、実に様々な質問や疑問が寄せられる。嘱託先は、訴訟について何も知らないことが多く、もったもなことであるから、快く嘱託に応じて文書を送付してもらい、送付嘱託の実効性を高めるためにも、適切に対応することが必要である。

そこで、どのような方法をとれば効果的なのかであるが、実務では、申請当事者の代理人から「文書送付嘱託申立書」が提出されるので、その記載内容を充実してもらい、その申立書(写し)を裁判所の「送付嘱託書」に添付して嘱託先に送ることによって、嘱託先にも事案の概要や送付の必要性などについて理解してもらうことがよいのではないかと考えられる。

申立代理人は、事案を熟知している上、送付の必要性などについても強い利害関係を有しているから、「文書送付嘱託申立書」に、従来の「文書の表示」、「文書の所持者」、「証明すべき事実」等のほか、新たに「送付の必要性等」という項目を設けて、事案の概要や送付の必要性などについても記載してもらえば効率的で、かつ一定の効果も期待できるのではないかとと思われる。

ただし、「文書送付嘱託申立書」の記載を充実してもらおうとしても、申立代理人の負担が大きすぎるようでは、実際問題として継続的に協力を得ることは難しいであろうから、比較的申立てが多い文書送付嘱託の類型ごとに、一応のモデル書式を作成しておき、これを参照して簡単に記載してもらえるようにしておけば、定着を図ることができるのではないと思われる。以下のモデル書式は、このような意図の下に作成されたものである。

なお、申立人に、「文書送付嘱託申立書」の記載を充実してもらうことと併せて、裁判所が実際に嘱託する際に送付嘱託についての説明文（別紙8）を同封し、嘱託先に対して、手続についての理解と協力を求めると共に、送付嘱託については個人情報の保護に関する法律の適用はなく（「法令に基づく場合」に該当する。）、本人の同意を得ずに個人データを提供しても、何ら問題のないことを周知していくことも、送付嘱託の実効性を高めるために有益ではないかと考えられる。

## 2 従来の「文書送付嘱託申立書」との一般的な相違点

前記のとおり、裁判所の「送付嘱託書」に、申立代理人から提出された文書送付嘱託申立書(写し)を添付することを予定して、そのモデル書式として作成したものが、別紙1ないし7である。別紙1は、「文書送付嘱託申立書」のサンプル書式全文であり、別紙2ないし7は、比較的数が多い嘱託先ごとに、「文書の表示」以下の部分のサンプルを記載したものである。

これらのモデル書式も、基本的には、これまでの「文書送付嘱託申立書」の記載内容を参考にしているものではあるが、以下のような事項について、新たに記載することを提案している。

### (1) 形式的な事項

- ① 申立代理人の住所、電話番号等
- ② 文書の所持者の電話番号等
- ③ 文書の特定に必要な個人識別情報

### (2) 実質的な事項

- ① 事案の概要
- ② 送付の具体的な必要性
- ③ 本人の同意の有無やプライバシー関連情報等

### 3 類型別モデル書式の解説

#### (1) 病院にカルテ等の送付を求める場合（別紙1）

##### ア 申立人代理人の住所，電話番号，FAX番号の記載（注1）

文書の所持者から申立人代理人に対して確認や照会をしようとする場合、申立人代理人の住所，電話番号，FAX番号などの連絡先が記載されていると、迅速かつ効率的に運用できるようになる。

##### イ 文書の表示（注2）

送付の対象文書が特定の人物に関する情報を記載したものであるときは、文書を特定する前提として、その人物を特定するために役立つ情報（本例では死亡年月日と住所を記載しているが、他に生年月日や性別等で特定することも考えられる。）が記載されていることが必要不可欠である。これまでの申立例でも、この点の特定が不十分であるとして、文書の所持者から裁判所や申立代理人に対して確認や照会がなされることが少なくないので、是非とも記載しておいてほしい事項である。

##### ウ 文書の所持者の電話番号，郵便番号の記載（注3）

裁判所の担当書記官から文書の所持者に必要な事務連絡等を行う際、文書の所持者の電話番号，郵便番号等の連絡先の記載があると、迅速かつ円滑に処理することができる。

##### エ 送付の必要性等（注4）

##### （ア）事案の概要等の記載の程度

新しく記載を求める「送付の必要性等」の記載の程度については、判決書に記載する「事案の概要」のような詳しさは必要ではない。法律の素人であり、事件の当事者でもない囑託先にとっては、詳細な事案の概要はかえって読みにくく、誤解を招くことも考えられるので、送付囑託

が問題となっている事件の基本的なイメージ（簡単な事実関係や問題の争点など）が分かる程度のものでよいであろう。

(イ) 遺言書作成日の記載（注5）

遺言書作成日を明らかにし、送付を求める文書が訴訟での判断に必要な範囲内のものであること（嘱託先からすれば、不必要な協力を求められているのではないこと）などの判断が可能になる。

(ウ) 送付の必要性の説明（注6）

送付を求める文書がどのような意味で訴訟に必要なのか、役に立つのかを具体的に説明しておく、嘱託先の理解が得られやすいと思われる。他の証拠では代替性がないような場合にはその旨も付記しておく、効果的であろう。もっとも、送付の必要性を強調しようとしてあまりにも一方的な記載をすると、相手方当事者からクレームや異議が出されて混乱する危険性もあるので、できる限り、嘱託先が分かる程度に客観的なまとめ方をすることが肝要である。

(エ) 同意書について（注7）

送付を求める文書について、それに関係の情報が記載されている本人や相続人などの同意がある場合には、その旨を記載し、同意書も入手できているときには、その写しを添付するとよい。このような同意書(写し)の添付が法律上の要件でないことは当然であるが、個人情報保護との関係もあり、嘱託先が本人や相続人の同意を求めてほしいと言ってくることも少なくないので、可能であれば申請書に添付しておくことが望ましい。

オ 個人情報保護法関係の説明について（注8）

個人情報保護法の関係については、多くの嘱託先が気にしている問題であり、裁判所に対して確認や照会がなされることも多いので、この点については、裁判所において、文書送付嘱託の制度そのものの説明と一緒に、別紙8のような一般的な説明資料を作成しておき、これを裁判所の「送付嘱託書」に同封して嘱託先に送付することを検討中である。したがって、

この点については、「送付の必要性等」の中での記載は求めないこととしている。

## (2) 銀行に取引履歴の送付を求める場合（別紙2）

### ア 文書の表示（注1）

対象文書の範囲を特定するため、できる限り必要な期間を特定するとともに、預金口座等を特定することができる情報（口座番号、氏名、住所等）を記載することが必要である。

### イ 送付の必要性等（注2）

取引経過は、通常は預金通帳の記載等を自分で確認すれば判明するものであるが、本件では、預金通帳が紛失して存在しないと主張されているため、銀行の取引履歴を確認するしか有効な方法がないことを明らかにして、送付の必要性を基礎づけている。

## (3) ゆうちょ銀行に取引履歴の送付を求める場合（別紙3）

### ア 文書の表示（注1）

対象文書の範囲を特定するため、できる限り必要な期間を特定するとともに、貯金口座等を特定することができる情報（通帳記号番号、氏名、住所等）を記載することが必要である。

### イ 文書の所持者（注2）

平成19年10月1日付けでいわゆる郵政民営化が実施されたことにとともに、文書の所持者や嘱託先の住所などが変更されているので、注意を要するところである。

### ウ 送付の必要性等（注3）

取引経過は、通常は貯金通帳等の記載を自分で確認すれば判明するものであるが、本件では、貯金通帳が紛失して存在しないと主張されているため、銀行の取引履歴を確認するしか有効な方法がないことを明らかにして、送付の必要性を基礎づけている。

#### (4) 特別区の区長等に介護保険に関する文書の送付を求める場合（別紙4）

##### ア 文書の表示（注1）

送付の対象文書が特定の人物に関する情報を記載したものであるときは、文書を特定する前提として、その人物を特定するために役立つ情報が記載されていることが必要不可欠である（本例では、氏名のほか住所と生年月日が記載されている。）。また、特別区や市町村が所持している文書は、要介護（支援）認定・更新時のもの及び介護サービス費等の支払に関するものであるが、対象文書の範囲を特定するため、対象期間のほか、できる限り文書名も列挙して記載することが望ましい。

なお、介護日誌等は介護サービス事業者が所持しているもので、特別区や市町村に対する申立自体が不適切である。

##### イ 文書の所持者（注2）

文書の所持者は、特別区や市町村などの自治体ではなく、区長又は市町村長である。個別具体的な氏名をも記載するのが一般的な取り扱いである。

##### ウ 送付の必要性等（注3）

他には客観的な証拠がほとんど見あたらない事案であり、対象文書以外に代替性がないことを明らかにして、送付の必要性を基礎づけている。

#### (5) NTTに通信履歴の送付を求める場合（別紙5）

##### ア 文書の表示（注1）

送付の対象文書が特定の人物に関する情報を記載したものであるときは、文書を特定する前提として、その人物を特定するために役立つ情報を記載することが必要である（本例では氏名と住所を記載している。）。また、対象文書の範囲を特定するため、対象期間のほか、当該電話番号、登録者の住所、氏名等も記載している。

##### イ 送付の必要性等（注2）

NTTなどの電気通信事業者は、電気通信事業法4条、電気通信事業に

における個人情報保護に関するガイドライン（平成16年8月31日総務省告示第695号）15条を理由に、送付を拒絶してくる場合が多いので、送付の必要性を具体的に記載するとともに、予め本人や関係者などの同意書を添付することが望ましい。

## (6) 税務署に税務申告書等の送付を求める場合（別紙6）

### ア 文書の表示（注1）

文書を特定する前提として、その人物を特定するために役立つ情報を記載することが必要である（本例では氏名と税務申告時の住所を記載している。）。また、対象文書の範囲を特定するため、対象期間を明示している。

### イ 送付の必要性等

#### (ア) 具体的必要性の説明（注2）

税務署への文書送付嘱託は、これまでほとんど協力が得られていないのが実情であるから、できる限り理解を求めるため、裁判で何が問題となっていて、なぜ送付が必要であるかを具体的に説明するようにしている。

なお、通常は本人の手元に税務申告書類の控えが残されているはずであり、送付の必要性がないのではないかとの疑問も生じるので、本件では申告書類等の控えが残されていないことを明らかにして、送付の必要性を基礎づけている。

#### (イ) 同意書について（注3）

同意書については4(1)エ(エ)のとおり。

#### (ウ) マスキング処理について（注4）

税務署保管されている税務申告書類には、担当職員がその申告内容を確認する際に付した様々な符丁や記号のほか、問題点の指摘などの書き込みがなされていることも考えられるところであるから、そのような税務署側の業務のための書き込み部分などについては、マスキング処理を施した上でその写しを送付することでもよいことを付記して、送付への

理解を求めている。

(7) 警察に捜査関係書類の送付を求める場合（別紙7）

ア 文書の表示（注1）

送付を求める文書については具体的に特定して記載する。文書を特定する前提として、被疑者の氏名とともに、事故の発生年月日及び発生場所を記載している。いわゆる連続玉突き衝突などで同一日に同一被疑者が複数の事故を起こしている場合などには、発生場所などの記載を厳密にすることが必要な場合もある。

イ 送付の必要性等

(ア) 具体的必要性の説明（注2）

警察への囑託は、これまで協力を得られなかった場合もあるので、送付を求める文書がどのような目的で利用されるのかを明らかにするとともに、送付を求める文書の性質を明らかにし、どのような観点から本件訴訟に必要なのかを、他の類型の場合よりも詳しく説明している。

(イ) 囑託を求めた時点で送付を求める文書が必要なことの説明等（注3）

送付を求める文書について、囑託先の協力を得やすくするため、代替性がないことを具体的に説明している。

また、検察庁への送致後ではなく、現時点で送付を求める文書が必要な点について、囑託先が民事訴訟の仕組みについて十分な知識を有しない場合もあるので、若干の説明を加えて送付についての理解を得られるように配慮した。

(ウ) 送付された供述調書の取扱い（注4）

供述調書の送付がなされても、必ずしも、不利益となるわけではないことを示した。

(別紙1) - 病院

平成〇〇年(ワ)第〇〇〇〇〇号

原告 甲 川 和 明 他1名

被告 甲 川 佐智子

平成〇〇年〇月〇〇日

東京地方裁判所民事第〇〇部〇係 御中

東京都港区虎ノ門〇-〇-〇

〇〇法律事務所

電 話 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

FAX 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

原告訴訟代理人弁護士 乙 山 弘

### 文 書 送 付 嘱 託 申 立 書

原告は、頭書事件について、次のとおり文書送付嘱託を申し立てます。

#### 第1 文書の表示

甲川太郎(平成19年3月4日死亡,生前の住所 東京都江東区大島〇-〇-〇)に関する平成18年1月から死亡に至るまでのカルテ,看護日誌,診断書等一切の記録

#### 第2 文書の所持者

郵便番号 112-0000

東京都文京区神田駿河台〇-〇-〇

電話 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

東京〇〇病院長 丙 塚 忠

#### 第3 証明すべき事実

甲川太郎が,平成18年11月1日当時,遺言能力を有していなかった事実

#### 第4 送付の必要性等

本件は,平成19年3月4日に死亡した甲川太郎の相続をめぐる争いである。甲川太郎は平成18年11月1日付け自筆の遺言証書を作成しているが,同人が

アルツハイマー型認知症に罹患していたことから、同遺言書を作成した当時の同人の遺言能力の有無が争いとなっている。

そこで、公正な裁判を実現するためには、甲川太郎が平成18年11月1日当時、どのような状況であったかを客観的に把握する必要があり、当時の同人の様子が客観的に記載されているカルテや看護日誌等の資料は有益である。

なお、甲川太郎の相続人全員（原告及び被告）の同意書があるのでこれを添付する。

(別紙2) - 銀行

第1 文書の表示

平成10年1月1日以降現在に至るまでの〇〇銀行霞が関支店普通32〇〇〇〇〇〇甲川太郎名義(生前の住所 東京都千代田区〇〇-〇-〇)の銀行口座の取引履歴(電磁的記録を含む。)

第2 文書の所持者

郵便番号 100-0000

東京都千代田区霞が関〇-〇-〇

電話 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇

〇〇銀行霞が関支店

第3 証明すべき事実

平成10年以降, 甲川太郎名義の銀行口座から預金債権が引き出されている事実

第4 送付の必要性等

本件は, 平成19年3月4日に死亡した甲川太郎の相続をめぐる争いである。甲川太郎は生前〇〇銀行霞が関支店に預金債権を有していたが, 同人が平成10年以降要介護状態にあり, 同預金債権に係る通帳及び印鑑を被告が保管していたことから, 被告が甲川太郎に無断で同預金債権を引き出したか否かが争いとなっている。

被告は, 上記預金債権の引き出しの事実自体を否認している上, 預金通帳を紛失したなどと主張している。そこで, 公正な裁判を実現するためには, 平成10年1月1日以降現在に至るまでの〇〇銀行霞が関支店普通32〇〇〇〇〇〇甲川太郎名義の銀行口座の取引履歴を客観的に把握する必要がある。このような取引履歴が客観的に記載されている資料は有益である。

(別紙3) ゆうちょ銀行

#### 第1 文書の表示

白河孝三(生前の住所 東京都杉並区永福〇-〇-〇)名義の株式会社ゆうちょ銀行杉並店通常貯金(通帳記号156〇〇番号1078〇〇〇〇)の平成18年9月以降現在に至るまでの取引履歴(電磁的記録を含む。)

#### 第2 文書の所持者

東京都千代田区丸の内二丁目7番2号(本店所在地)

株式会社ゆうちょ銀行代表執行役社長 高木 祥吉  
(囑託先)

〒330-9794

さいたま県さいたま市中央区新都心3-1

東京貯金事務センター業務管理課第一官公署担当

電話 048-600-3327(直通)

#### 第3 証明すべき事実

被告が、白河孝三に無断で同人の貯金債権を払い戻したか否か。

#### 第4 送付の必要性等

本件は、平成18年12月23日に死亡した白河孝三の相続をめぐる争いである。白河孝三は生前にゆうちょ銀行杉並店に貯金債権を有していたが、同人が平成18年9月15日から東京〇〇病院に入院したために、同貯金債権に係る通帳、印鑑を被告が保管するようになり、被告が白河孝三に無断で同貯金債権を払い戻したか否かが争いとなっている。

被告は、貯金債権の払い戻しの事実自体を否認している上、貯金通帳を紛失したなどと主張している。そこで、公正な裁判を実現するためには、平成18年9月から現在にいたるまでの白河孝三名義の貯金(通帳記号等は文書の表示記載のとおり)の取引履歴を客観的に把握する必要がある、このような取引履歴が客観的に記載されている資料は有益である。

(別紙4) 一特別区の区長等

第1 文書の表示

〇〇(住所 東京都〇区……, 生年月日〇〇年〇〇月〇〇日)の, 平成〇〇年〇月〇日から平成〇〇年〇月〇日までの, 介護保険に関する次の文書

- 1 要介護(支援)認定(更新・変更)申請書及び付属書類
- 2 要介護(支援)認定(更新・変更・取消)に関する一切の文書(認定書, 調査報告書, 医師の意見書・診断書, 認定審査会への求審査及び判定書, 認定審査会からの通知書など)
- 3 介護(支援)サービス費等の支給に関する一切の書類(請求書など)

第2 文書の所持者

〒 〇〇〇-〇〇〇〇

東京都〇区……

東京都〇区長

第3 証明すべき事実

〇〇が平成〇〇年〇月〇日当時, 身体障害により自筆遺言証書を作成する身体的能力を有していなかった事実。

第4 送付の必要性等

本件は, 平成〇〇年〇月〇日死亡した〇〇の遺産相続をめぐる争いである。

〇〇遺産相続について, 平成〇〇年〇月〇日付自筆遺言証書が存在するところ, 〇〇は遺言書の作成日付当時重度の要介護状態にあったことから, 自筆遺言証書を作成する身体的能力を有していたかが争点となっている。

前記争点について客観的に把握するため, 介護サービスに関する資料は必要不可欠なものとなっている。また, 他に客観的で的確な資料は見あたらない。

(別紙5) - N T T

第1 文書の表示

平成18年5月31日から同年6月22日までについて、原告乙川達也宅（東京都江東区大島〇-△△-××）の電話（03-3581-〇〇〇〇）に関し、被告が登録する番号（03-〇〇〇〇-〇〇〇〇）からの着信を受けた記録。

第2 文書の所持者

郵便番号 163-0000

東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇

電話 03-3581-〇〇〇〇

東（西）日本電信電話株式会社

第3 証明すべき事実

被告が、原告宅の電話に対し、平成18年5月31日頃から同年6月22日頃までの間に、架電した事実。

第4 送付の必要性

本件は、原告がもとの妻である被告に対し、多数回の無言電話等により体調を崩すに至ったとして損害賠償を求めている事案であり、被告が原告に対して多数回の架電をしたか否かが争点となっている。

原告の手元には着信記録が残っていないので、東（西）日本電信電話株式会社が保管する着信記録が必要である。なお、当該電話（03-3581-〇〇〇〇）の登録者である原告の同意書があるのでこれを添付する。

(別紙6) 一 税務署

第1 文書の表示

〇〇〇〇 (税務申告時の住所・東京都〇〇区〇〇〇町〇-〇-〇) の下記年度の税務申告書及び添付書類一式

(1) 平成〇〇年度 (平成〇〇年3月期申告分)

(2) 平成〇〇年度 (平成〇〇年3月期申告分)

第2 文書の所持者

東京都〇〇区〇〇〇町〇-〇-〇

〇〇〇税務署長           〇   〇   〇   〇

(電話 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 )

第3 証明すべき事実

〇〇〇〇 (税務申告時の住所・東京都〇〇区〇〇〇町〇-〇-〇) が平成〇〇年度及び平成〇〇年度に税務申告した所得等の内容

第4 送付の必要性等

本件は、平成〇〇年〇月〇日に死亡した〇〇〇〇の相続をめぐる争いであり、〇〇〇〇が死亡する前2年間の所得等の内容について、相続人間で争いとなっている。相続人である本件訴訟の原告及び被告らの手元には両年度の申告書の控えも残っていないため、貴税務署に保管されている上記申告書及び添付書類を確認する必要がある。

なお、〇〇〇〇の相続人全員 (原告及び被告ら) の同意書があるのでこれを添付する。貴税務署において事務処理に必要な書き込みをした部分があり、業務に支障が生じるおそれがある場合には、その書き込み部分についてマスキング処理をしたコピーでもよい。

(別紙7) - 警察

第1 文書の表示

被疑者〇〇〇〇についての平成〇年〇月〇日、東京都世田谷区〇〇1丁目  
3番先路上で発生した交通事故についての捜査書類一式

- (1) 実況見分調書
- (2) 写真撮影報告書
- (3) 捜査報告書
- (4) 〇〇〇〇の供述調書

第2 文書の所持者

東京都〇〇区〇〇〇町〇-〇-〇

〇〇〇警察署署長           〇   〇   〇   〇

(電話 03-〇〇〇〇-〇〇〇〇 )

第3 証明すべき事実

平成〇年〇月〇日発生 of 交通事故の発生状況

第4 送付の必要性等

原告の父である東太郎は、被告との間で、本件車両（登録番号571う11  
10号）の事故により本件車両に乗車した者が死亡した場合には保険金を支払  
うとの保険契約を締結した。

東太郎は、平成19年8月1日午後5時30分ころ、本件車両を運転してい  
たところ、東京都世田谷区〇〇1丁目3番先路上で停車していたトラックに追  
突して死亡した。原告が被告に対して保険金の支払いを請求したところ、被告  
は、被保険者である東太郎の故意によって惹起された事故であり、免責事由に  
該当するとして争っており、この点が争点となっている。

本件では、本件車両を運転していた東太郎が既に死亡しており、同人から事  
情を聴くことができないため、事故当時の客観的状況を明らかにすることが争  
点の解明に必要不可欠であり、そのため実況見分調書、写真撮影報告書、捜査  
報告書、被害者や目撃者の供述調書等の文書が必要となる。

事故当時の客観的状況は、事故直後に作成された実況見分調書、写真撮影報  
告書、捜査報告書等で明らかになっていると考えられるものの、これらを代替  
する証拠はなく、これらの文書が訴訟の早期の段階から必要不可欠となる。ま  
た、被害者や目撃者の供述調書も、被疑者が既に死亡していることを考えると、

当時の客観的状況を明らかにするためには欠くことのできない証拠であるうえ、民事訴訟においては主張が整理された後に証人尋問等の証拠調べが行われることが法令で定められているため、主張整理や証人尋問の必要性判断のためにもこれらの者の供述調書が必要である。

なお、供述調書が提出されることによって証人尋問が行われない場合もあり得るので、これらの者の負担軽減になる場合もある。

平成 年(ワ)第 号

原告

被告

## 送 付 嘱 託 書

平成 年 月 日

殿

〒100-8920

東京都千代田区霞が関1丁目1番4号

東京地方裁判所民事第 部 係

裁判所書記官

電話 03-3581-0000 (ダイヤルイン)

FAX 03- -

上記事件について、民事訴訟法第226条により、別紙送付嘱託申立書「第1文書の表示」記載の文書等を送付してくださるよう嘱託します。送付に当たって、同申立書「第4 送付の必要性等」をご参照ください。

なお、次回期日は平成 年 月 日ですので、当日の1週間前(又は 月 日)までには到着するよう御配慮ください。

追って、文書の送付費用として、郵券 円分を同封します。

# 送付嘱託について

東京地方裁判所民事部

- ◇ 民事訴訟では、裁判の証拠として必要な文書を第三者が所持している場合には、文書の所持者に対して、その文書を裁判所に送付（提出）するよう求めることができます（民事訴訟法第226条）。これを送付嘱託といいます。

裁判所は、訴訟当事者の申立てを受けて、真実発見などのためその文書を証拠とすることが必要であると判断したものについて、送付嘱託をしています。

- ◇ なお、個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）では、「あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供してはならない。」（第23条1項）と定められていますので、文書を裁判所に送付しても大丈夫だろうかとの心配があるかもしれません。しかし、同時に、個人情報保護法では、「法令に基づく場合」には、その例外となることが定められており、本人の同意は必要ではありません。もちろん、今回の送付嘱託は、民事訴訟法226条に基づいて裁判所がしているものですから、「法令に基づく場合」に該当します。したがって、今回送付を求めている文書に何らかの個人データが含まれている場合でも、個人情報保護法によって問題が生じることはありません。

- ◇ この嘱託に応じて裁判所に文書を送付していただくことは、公正かつ妥当な裁判を実現するために重要なことですから、文書の送付について、ご理解とご協力をお願いいたします。

---

## ○民事訴訟法 第226条

書証の申出は、第219条の規定にかかわらず、文書の所持者にその文書の送付を嘱託することを申し立ててすることができる。（以下略）

## ○個人情報の保護に関する法律 第23条

個人情報取扱事業者は、次に掲げる場合を除くほか、あらかじめ本人の同意を得ないで、個人データを第三者に提供してはならない。

- 一 法令に基づく場合  
（以下略）

事件番号 平成 年(ワ)第 号  
原告  
被告

## 鑑 定 嘱 託 書

平成 年 月 日

殿

東京地方裁判所民事第 部 係

裁判所書記官

職印

TEL 03-3581-5411 (代表)

内 線

FAX 03-3581-

上記事件について、裁判上必要なため、別紙鑑定事項（※別紙は省略）について鑑定の上、その結果を理由を付して書面で報告して下さるよう民事訴訟法218条により嘱託します。

なお、審理の都合上、鑑定書提出までの所要日数（見込み）を折り返しお知らせくださるよう申し添えます。

平成 年(ワ)第 号  
原 告  
被 告

鑑 定 依 頼 書

平成 年 月 日

殿

〒100 - 8920

東京都千代田区霞が関1丁目1番4号

東京地方裁判所民事第〇〇部〇〇係

電 話 03 - 3581 - (ダイヤルイン)

F A X 03 - -

裁判所書記官

上記事件について、あなたに鑑定を依頼することとなりました。

つきましては、別紙の鑑定事項について鑑定を行い、その結果を書面で 月・日  
までに当裁判所に提出してください（正本1通，副本 通）。

また、別紙宣誓書に署名押印の上、持参又は郵送で 月 日までに当裁判所に  
提出してください。この宣誓書の提出により、鑑定人は良心に従って誠実に鑑定する  
ことを宣誓したことになります。

なお、鑑定人が虚偽の鑑定をした場合の罰として虚偽鑑定罪（刑法171条）の規  
定が設けられています。

(書面尋問の決定のみ行う場合)

決 定

原 告

被 告

上記当事者間の平成 年(ワ)第 号 請求事件につき、当裁判所  
は、 告 申請の証人 に対し、別紙尋問事項につき、その尋問に代え、  
書面の提出を命ずる。

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部

裁 判 官

同日当事者双方各代理人に対し電話で告知した。

同日同庁

裁判所書記官

(証人の採用及び書面尋問の決定を行う場合)

決 定

原 告

被 告

上記当事者間の平成 年(ワ)第 号 請求事件につき、当裁判所  
は、 告 申請の証人 を採用し、同証人に対し、別紙尋問事項につき、  
その尋問に代え、書面の提出を命ずる。

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部

裁 判 官

同日当事者双方各代理人に対し電話で告知した。

同日同庁

裁判所書記官

平成 年(ワ)第 号  
原 告  
被 告

## 回 答 依 頼 書

平成 年 月 日

証 人 殿

〒100 - 8920

東京都千代田区霞が関1丁目1番4号

東京地方裁判所民事第 部 係

電 話 03 - 3581 - (ダイヤルイン)

F A X 03 - -

裁判所書記官

上記事件について、民事訴訟法205条により、あなたに対する尋問に代え、書面の提出をしていただくこととなりました。

つきましては、平成 年 月 日までに、別紙尋問事項に対する回答を書面で当庁民事第 部 係に提出してください。回答書が提出されない場合又は回答が不十分な場合には、改めて当庁に来ていただくこともありますので、留意してください。

回答は同封の回答書に各尋問事項ごとに記載し、必ず署名押印してください。

なお、返送用として 円分の切手を同封します。

平成 年(第 号 請求事件  
原告  
被告

## 証 拠 説 明 書

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 係 御中

原告

代表者代表取締役

印

号 証	標 目 (原本・写しの別)	作成年 月 日	作 成 者	立 証 趣 旨	備考
甲1					

平成 年( )第 号  
原告  
被告

## 書証否認等理由書

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 係 御中

被告訴訟代理人弁護士

印

被告は、以下の理由により、次の文書の成立を否認し、又は成立につき知らない旨主張する。

### 1 成立を否認する文書

#### (1) 甲4 (委任状)

被告名下の印影が被告の印章により顕出されたものであることは認めるが、被告作成名義部分は被告が署名したものではない。前記文書は、被告の子◇◇が平成9年12月19日に帰郷した際、タンスの中に保管してあった被告の実印を無断で取り出し、被告の了解を得ることもなく、勝手に被告名義で作成したものである。

#### (2) 甲18 (写真)

撮影日時が平成4年5月2日ころであることは否認する。当時、本件土地と隣地との境界には高さ約2メートルの石塀が存在していたはずであるが、甲18には、このような石塀は一切写っていない。

### 2 成立につき知らない文書

#### 甲1 (金銭消費貸借契約証書)

当証書の主債務者欄には、〇〇〇〇の氏名が署名され、その名下に同人名義の押印が認められるが、被告は、同人の筆跡及びその印章の形状を知らず、もはや同人に連絡を取るべき手段もない。かえって、同人の妻によれば、〇〇〇〇の署名押印でないようにも思われるとのことである。

せん  
宣

せい  
誓

りょうしん したが せいじつ つうやく  
良心に従って誠実に通訳するこ

ちか  
とを誓います。

通訳人

せん  
宣

せい  
誓

りょうしん したが せいじつ かんてい  
良心に従って誠実に鑑定するこ

ちか  
とを誓います。

鑑定人

せん  
宣

せい  
誓

りょうしん したが しんじつ の なにごと  
良心に従って真実を述べ、何事

かく いかわ の ちか  
も隠さず、偽りを述べないことを誓

います。

氏 名

平成 年(ワ)第 号

原 告

被 告

証 人 呼 出 状

平成 年 月 日

殿

〒100 - 8920

東京都千代田区霞が関1丁目1番4号

東京地方裁判所民事第〇〇部〇〇係

電 話 03 - 3581 - (ダイヤルイン)

F A X 03 - -

裁判所書記官

あなたは、頭書の事件について、別紙の事項に関して証人として尋問されることになりましたから、平成 年 月 日 午 時 分に当裁判所民事第 号 法廷（ 階）にお越しください。

なお、証人として裁判所で証言することは、国民としての大切な義務です。正当な理由がないのに来られないときは、法律上の制裁（訴訟費用の負担、過料、罰金又は拘留）を受けたり、勾引されたりすることがあります。

病気その他のやむを得ない事情で出頭できないときは、前もって診断書その他の出頭できない事情を証明する書面を添えて、その旨届けてください。

(注) 1 出頭の際は、この呼出状を法廷で示してください。

2 証人は所定の旅費及び日当を請求することができますので、請求される方は認印（スタンプ式不可）を持参してください。

平成 年 月 日

証人

殿

東京地方裁判所民事第 部 係  
裁判所書記官

(電話 03 - 3581 - (ダイヤルイン))  
(FAX 03 - - )

事 務 連 絡

原 告  
被 告

上記当事者間の当庁平成 年(第 号 請求事件について、あなたを証人として当法廷にお呼びしましたが、出廷していただけなかったことから、この度、あなたに対して、勾引状の発付が検討されています。

勾引とは、実力で証人を出頭すべき場所に強制的に引致することです。したがって、勾引状が発付されれば、あなたの都合にかかわらず裁判所に来ていただくこととなります。

そこで、次回期日(平成 年 月 日 午 時 分)に、任意に出廷する意志があるかどうかについて確認させていただきたいと思いますので、来る 月 日までに、以下の文書をきりとり線から切り離して送付するか(ファクシミリ送信可)、電話で連絡してください。

きりとり線

平成 年(第 号  
期 日 平成 年 月 日 午 時 分

- 1 上記期日に出頭します。
- 2 下記の理由で上記期日には出頭できません。  
理由(できるだけ詳しく書いてください。その理由を明らかにする診断書等の資料を添付してください。)

平成 年 月 日  
住 所

氏 名

印

連絡先電話番号 ( )

東京地方裁判所民事第 部 係 御中

平成 年(ワ)第 号  
原告  
被告

当 事 者 尋 問 呼 出 状

平成 年 月 日

殿

〒100 - 8920  
東京都千代田区霞が関1丁目1番4号  
東京地方裁判所民事第〇〇部〇〇係  
電 話 03 - 3581 - (ダイヤルイン)  
F A X 03 - -

裁判所書記官

あなたは、頭書の事件について、別紙の事項に関して当事者本人として尋問されることになりましたから、平成 年 月 日午 時 分に当裁判所民事第 号法廷（ 階）に出頭してください。

なお、正当な理由なく出頭しないときは、裁判所では尋問事項に関する相手方の主張を真実と認めることがあります。

病気その他のやむを得ない事情で出頭できないときは、前もって診断書その他の出頭できない事情を証明する書面を添えて、その旨届けてください。

(注) 出頭の際は、この呼出状を法廷で示してください。

平成 年(ワ)第 号  
原告  
被告

鑑 定 人 呼 出 状

平成 年 月 日

殿

〒100 - 8920

東京都千代田区霞が関1丁目1番4号

東京地方裁判所民事第 部 係

電 話 03 - 3581 - (ダイヤルイン)

F A X 03 - -

裁判所書記官

鑑定人として、平成 年 月 日午 時 分に当裁判所民事第 号  
法廷（ 階）に出頭してください。（詳しくは案内図参照）

鑑定事項は別紙のとおりです。

なお、正当な理由なく出頭しないときは、法律上の制裁（訴訟費用の負担、過料、  
罰金又は拘留）を受けることがあります。

病気その他のやむを得ない事情で出頭できないときは、前もって診断書その他の出  
頭できない事情を証明する書面を添えて、その旨届けてください。

- (注) 1 出頭の際は、この呼出状を法廷で示してください。  
2 鑑定人は所定の旅費、日当及び鑑定料を請求することができます。

## 御 案 内

このたびは、証人として裁判所にお越しいただくことになりました。下記を参照の上、訴訟の適正迅速な処理のために、御協力ください。

### 記

- 1 出頭の際は、認印、身分を証明することのできるもの（運転免許証など）、呼出状を持参してください。
- 2 出頭する法廷  
出頭する法廷が分からないときは、玄関の守衛に尋ねてください。  
なお、出頭の際は、法廷内の係員に呼出状を示してください。
- 3 出頭のための旅費日当  
出頭されたときには、旅費日当を請求することができます。旅費日当の支払は口座振込とさせていただきますので、証人尋問の当日に、振込金融機関（郵便局、ネット銀行を除く。）、支店名、口座番号、口座名義を控えてきてください。
- 4 出頭しないことについて正当の理由がある場合  
呼出状記載の期日は、あなたが出頭されることを予定しています。単なる商用、社用等は、出頭しないことについての正当な理由になりませんので、出頭できないほどの病気、交通機関の故障、変更できない重要な用件のあるとき等、やむを得ない事情がある場合を除き、必ず出頭してください。
- 5 裁判所への連絡  
4に記載された事情等で出頭できないときは、早めに書面で届け出てください。遅参その他の連絡や問い合わせは、呼出状に記載の書記官あてにしてください。

（所在地） 〒100-8920 東京都千代田区霞が関1丁目1番4号

（電話番号） 03- - (ダイヤル)

# 送達報告書

事件番号 平成 年 ( ) 第 号

送達書類  ただし、右番号に○を付したのもの	1 平成 年 月 日 午前・後 時 分 口頭弁論期日呼出状 2 訴状(訴状に代わる準備書面) 副本及び答弁書催告書 3 書証写し(甲・乙・ 号証 ~ 号証 ) 4 答弁書副本                      5 反訴状副本 6 平成 年 月 日 付け証拠申出書副本 7 平成 年 月 日 付け証拠説明書副本 8 平成 年 月 日 付け準備書面副本 9 平成 年 月 日 付け準備書面(訴え変更) 副本 10 判決正本                      11 第 回口頭弁論調書(判決・和解) 正本 12 和解調書正本                13 第 回弁論準備手続調書(和解) 正本 14 取下書副本                    15 決定正本 16		
受送達者	<input type="checkbox"/> 原告 <input type="checkbox"/> 被告 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 代理人 <input type="checkbox"/> 代表者	
あて先とした場所 (書留郵便に付する送達の場合のみ)	<input type="checkbox"/> 訴状記載の住所 <input type="checkbox"/> 年 月 日 付け上申書記載の住所		
送達方法  ただし、右番号に○を付したのもの	1  交付送達	平成 年 月 日 午前・午後 時 分に 当庁において交付した。  書類受領者 _____ 印	
	2  書留郵便に付する送達	平成 年 月 日 午前・午後 時 分に 東京高等裁判所内郵便局の書留郵便に付した。 書留郵便物受領証は、別冊書留郵便物受領証つづりにつづる。 <input type="checkbox"/> 受送達者所在不明のため民訴規則44条の通知せず。	
	3  公示送達(書類)	平成 年 月 日 裁判所書記官が、上記書類を保管し受送達者に交付する旨、 当庁掲示場に掲示した。 送達効力発生年月日   平成 年 月 日	
	4  公示送達(呼出状)	平成 年 月 日 上記呼出状を当庁掲示場に掲示した。 送達効力発生年月日   平成 年 月 日	
上記のとおり送達した。  平成 年 月 日 東京地方裁判所民事第 部  裁判所書記官			

(注) 該当する事項の□にレを付する。

民訴規則44条の通知	方 法	封書・はがき・ファクシミリ	裁判所書記官印	
	相手方	受送達者		
	年月日	前同日		

平成 年( )第

号

## 送 達 報 告 書

1 送達書類	<input type="checkbox"/> 第 回口頭弁論調書(判決・和解)正本 <input type="checkbox"/> 第 回弁論準備手続調書(和解)正本 <input type="checkbox"/> 判決正本 <input type="checkbox"/> 和解調書正本 <input type="checkbox"/> 平成 年 月 日付け準備書面(訴え変更)副本 <input type="checkbox"/> 残郵券 円分
2 受送達者	<input type="checkbox"/> 原告 代理人 <input type="checkbox"/> 被告 代理人
<p>上記書類は、平成 年 月 日 午前・午後 時 分 受送達者に対して当庁において直接交付し、これを送達した。</p> <p>前 同 日 東京地方裁判所民事第 部</p> <p>裁判所書記官</p> <p>書類受領者</p>	

(注) 該当する事項の□にレを付する。

平成 年(ワ)第 号		
平成 年(モ)第 号 本件につき公示送達をする。 平成 年 月 日 東京地方裁判所民事第 部 裁判所書記官		
公示送達報告書(受送達者・被告 )		
揭示年月日	送 達 書 類	裁判所書記官記名・印
平成 年 月 日	<input type="checkbox"/> 平成 年 月 日 午前・午後 時 分 <input type="checkbox"/> 頭弁論期日呼出状 <input type="checkbox"/> 答弁書催告書 <input type="checkbox"/> 訴状副本 <input type="checkbox"/> 証拠申出書副本 <input type="checkbox"/> 甲 号証 から 号証 写し <input type="checkbox"/>	
平成 年 月 日	<input type="checkbox"/> 平成 年 月 日 午前・午後 時 分 <input type="checkbox"/> 頭弁論期日呼出状 <input type="checkbox"/> 証拠申出書副本 <input type="checkbox"/> 甲 号証 から 号証 写し <input type="checkbox"/>	
平成 年 月 日	<input type="checkbox"/> 平成 年 月 日 午前・午後 時 分 <input type="checkbox"/> 頭弁論期日呼出状 <input type="checkbox"/>	
平成 年 月 日	<input type="checkbox"/> 平成 年 月 日 午前・午後 時 分 <input type="checkbox"/> 頭弁論期日呼出状 <input type="checkbox"/>	
平成 年 月 日	<input type="checkbox"/> 平成 年 月 日 午前・午後 時 分 <input type="checkbox"/> 頭弁論期日呼出状 <input type="checkbox"/>	
平成 年 月 日	<input type="checkbox"/>	

(注) 該当する事項の□にレを付する。

事件番号 平成 年(ワ)第 号  
原告  
被告

平成 年 月 日  
東京地方裁判所民事第 部 係  
裁判所書記官

### 口頭弁論期日呼出状・答弁書催告書

原告 から訴状が提出されました。

期日は平成 年 月 日 午前・午後 時 分と定

められましたから被告は同期日に当裁判所民事第 号法廷  
( 階)に出頭してください。

なお、訴状を送達しますから、平成 年 月 日まで  
に答弁書を提出してください。

### 公示送達

被告に送達する下記の書類(○を付したものは当書記官室  
に保管してありますので、出頭の上その交付を受けてください。

記

- 1 訴状副本
- 2 書証写し(甲 号証 から 号証 )
- 3 証拠申出書副本
- 4

上記書類を受領しなかったときは、平成 年 月 日をも  
って法律上その書類の送達があったものとみなされます。

事件番号 平成 年(ワ)第 号

原告

被告

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 係

裁判所書記官

## 公 示 送 達

被告に送達する下記の書類（○を付したものは当書記官室に保管してありますので、出頭の上その交付を受けてください。

記

- 1 訴状訂正申立書副本
- 2 書証写し（甲 号証 から 号証 ）
- 3 証拠申出書副本
- 4 第 回口頭弁論調書（判決）正本
- 5 更正決定正本
- 6

上記書類を受領しなかったときは、平成 年 月 日をもって法律上その書類の送達があったものとみなされます。

事件番号

平成 年 ( ) 第

号

## 郵便に付する送達について (通知)

平成 年 月 日

殿

〒100-8920 東京都千代田区霞が関1丁目1番4号

東京地方裁判所民事第 部 係

電話 03(3581) (ダイヤルイン)

FAX 03(359 )

裁判所書記官

あなたに対し、本日下午記の書類を民事訴訟法107条の規定により書留郵便で発送しました。したがって、本日をもって同書類はあなたに送達されたものとみなされることとなり、これを受け取らない場合でも受け取ったものとして訴訟手続は進行します。

なお、同書類を不在のため受領できなかったときは、配達日から7日間集配郵便局に保管された後、差出人戻しとなりますから、集配郵便局に出向いて受領してください。

### 記 (○印のもの)

- 1 口頭弁論期日呼出状 (平成 年 月 日 午前・午後 時 分)
- 2 訴状副本及び答弁書催告書
- 3 書証写し (甲・乙・ 号証 ~ 号証 )
- 4 平成 年 月 日付け準備書面副本
- 5 平成 年 月 日付け準備書面 (訴え変更) 副本
- 6 平成 年 月 日付け証拠申出書
- 7 平成 年 月 日付け証拠説明書
- 8 判決正本
- 9 第 回口頭弁論調書 (判決・和解) 正本
- 10

事件番号 平成 年 ( ) 第 号

原告  
被告

## 就業場所送達について (通知)

平成 年 月 日

殿

〒100-8920 東京都千代田区霞が関1丁目1番4号  
東京地方裁判所民事第 部 係  
電 話 03(3581) (ダイヤルイン)  
F A X 03(358 )  
裁 判 所 書 記 官

あなたに対し、下記のとおり書類 (□にレを付したものを) を送達しましたので通知します。

記

- 書類の名称 □平成 年 月 日午前・午後 時 分口頭弁  
論期日呼出状  
□訴状副本□答弁書催告書  
□書証写し (甲・乙・ 号証 ~ 号証 )  
□平成 年 月 日付け準備書面副本  
□証拠説明書 ( . . 付) 副本  
□第 回口頭弁論調書 (判決・和解) 正本  
□第 回弁論準備手続調書 (和解) 正本  
□  
□

書類受領者の氏名

送達年月日時 平成 年 月 日午前・午後 時 分  
送達場所

## 送達場所等の届出について

各 位

東京地方裁判所民事第 部

この訴訟において、今後あなたが書類の送達を受ける場所等を同封の「送達場所等の届出」用紙に記載して、当部あて届出てください。

送達場所等の届出があった場合には、以後、この訴訟に関する裁判所からのすべての書類はその届出場所にあてて発送されます。

なお、一度届出た場所を変更する場合には、同様の書面で、変更の届出を行ってください。送達場所等の変更を届出ない限り、旧住所にあてて発送することになります。

事件番号 平成 年 ( ) 第 号  
原告  
被告

### 送達場所等の届出

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 係 御中

氏名 印

送達場所	郵便番号 ( - ) 住所  ( ) 方 電話番号 ( - - )
あなたと送達場所との関係 ※数字を○で囲んでください。	1 住所 2 勤務先 3 その他 ( ) ※「3 その他」の場合は、関係を具体的に記載してください。
送達受取人	※あなたと送達場所との関係が「3 その他」の場合のみ記載してください。

平成 年 月 日

東京地方裁判所執行官 殿

東京地方裁判所民事第 部

裁判所書記官

内線 ( )

休日・夜間送達依頼書 (□については、レを付したものを選択)	
事件番号	平成 年 ( ) 第 号
事件名	
受送達者	資格 <input type="checkbox"/> 原告 <input type="checkbox"/> 被告 <input type="checkbox"/> 債権者 <input type="checkbox"/> 債務者 <input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/>
	氏名
	送達場所 (アパート、公団、ビルなどのときは階数、部屋番号を、同居人のときは同居先を記載)
送達書類	
郵便送達のできない理由	
送達すべき日時についての指示	<input type="checkbox"/> 休日 <input type="checkbox"/> 夜間 ( 時ころから在宅予定) <input type="checkbox"/> 休日・夜間いずれも可 (夜間のときは 時ころから在宅予定) <input type="checkbox"/>
送達費用支払義務者	(資格) (氏名) (電話)
送達上の参考事項	(受送達者の職業、最寄りの駅名、バス停、目標となる建物、日中不在の理由、案内図の添付、その他)

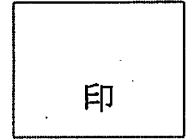
平成 年 ( ) 第 号

## 登記嘱託書

不動産の表示 別紙物件目録記載のとおり  
登記の目的 平成 年 月 日受付第 号  
預告登記の抹消登記  
原因 平成 年 月 日原告敗訴  
添付書類 判決謄本

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部  
裁判所書記官



法務局

支局・出張所

御 中

執 行 文

債権者 は、債務者 に対し、この債務名義により強制執行を  
 することができる。

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部

裁判所書記官

債権者 〔            〕	
債務者 〔            〕	
債務名義に係る請求権の一部について強制執行をすることができる範囲	
付 与 の 事 由	
ア 事実の到来を証する文書を提出(民執法27Ⅰ) イ 承継等が明白(民執法27Ⅱ) ウ 承継等を証する文書を提出(民執法27Ⅱ) エ 特別の事情等を証する文書を提出(民執法27Ⅲ) オ 付与を命ずる判決 (該当する符号を右の欄に記載する。)	
再 度 付 与	通

注 該当する事項がない場合には、斜線を引く。

# 執 行 文

債権者 は、債務者 に対し、この債務名義により強制執行を  
することができる。

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部

裁判所書記官

債 権 者 〔 〕	
債 務 者 〔 〕	
債務名義に係る請求権の一部について強制執行をすることができる範囲	
付 与 の 事 由	
ア 証明すべき事実の到来を証する文書を提出 イ 承継などの事実が明白（規17②） ウ 承継などを証する文書を提出 エ 付与を命ずる判決 （該当する符号を右の欄に記載する。）	
再 度 付 与	通

注1 該当する事項がない場合には、斜線を引く。

注2 民事執行法29条後段により本執行文の謄本を送達する場合には、上部欄外に債務名義の事件番号を付記する。

執 行 文

債権者 は、債務者 に対し、この債務名義により  
強制執行をすることができる。

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部

裁判所書記官

債 権 者

( )

債 務 者

( )

これは正本である。

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部

裁判所書記官

これは謄本である。

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部

裁判所書記官

前記証明する。

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部

裁判所書記官

平成 年(第 号

原 告

被 告

期 日 請 書

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 係 御中

原 告 ・ 被 告 代 理 人

印

上記当事者間の事件について、下記1の期日を下記2のとおり指定告知されましたから、同期日をお請けします。

記

- 1 ア 口頭弁論 イ 準備的口頭弁論 ウ 弁論準備手続  
エ 進行協議 オ 和解 カ  
(電話会議 テレビ会議 の方法を利用)

- 2 平成 年 月 日 午前・午後 時 分

# ファクシミリ利用のご案内

東京地方裁判所民事部

当庁へのファクシミリによる送信は、以下の要領に従ってください。

## 1 送信文書

- (1) 書面がファクシミリで送信された場合、原則として送信されたものをそのまま訴訟記録とします。この場合、記名押印が必要な書面については、記名押印したうえで送信してください。

なお、印字が不鮮明な場合、書類のサイズがA4でなく記録に編綴するうえで支障となる場合等、裁判所が必要と認めるときは、改めて当該書面又は当該書面の必要箇所について、再送信又は提出をお願いすることがあります。枚数の多い書面については、あらかじめ担当部にご相談ください。

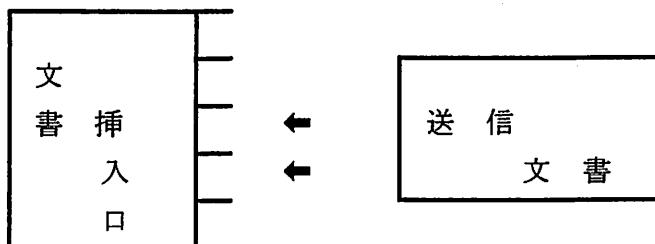
- (2) 民訴規則3条1項によって、ファクシミリにより送信できない書面がありますので、ご注意ください。送信されても提出の効力を生じません。

## 2 送信の方法

- (1) 送信する場合は、まず後掲「ファクシミリ送信書兼受領書」にならった送信書を送信してください。

- (2) 送信する書面の大きさは、原則としてA4判に限ります。書面の各葉には頁数を記載してください。

ファクシミリに書面を差し入れる方向は、下図のようにしてください。



## 3 相手方への送付（送信）

当庁へファクシミリにより送信する書面について、相手方へも直送する必要があるときは、直接送付（送信）されるようお願いいたします。この場合、当庁への送信書面には、副本直送の旨を付記してください。

なお、相手方に訴訟代理人が選任されていない場合等については、担当部にご相談ください。

## 4 利用時間

ファクシミリの利用時間は、原則として平日の午前9時から午後5時までです。

平成 年(ワ)第 号(次回期日 平成 年 月 日)

原告

被告

### 準備書面・書証等提出書

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 係 御中

原告訴訟代理人

印

上記事件について、

- 平成 年 月 日付け準備書面
- 証拠説明書(甲 号証から 号証分)
- 甲 号証から 号証

を提出します。なお、本書面の提出につき被告訴訟代理人の承諾を得ています。

### 準備書面・書証等受領書

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 係 御中

被告訴訟代理人

印

上記準備書面・書証等を受領しました。

事件番号 平成 年 ( ) 第 号

放 棄 書

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 御中

証人の氏名

印

上記事件について、平成 年 月 日、証人として出頭しま

したが、旅費及び日当は放棄します。

平成 年 ( ) 第 号

# 受領書

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 係 御中



下記の書類を受領しました。

記

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 通 |
| 2 | 通 |
| 3 | 通 |

平成 年 ( ) 第 号

# 受領書

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 係 御中

原告被告代理人 ⑨

下記の書類を受領しました。

## 記

- |   |   |                                      |   |
|---|---|--------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 執行文付判決正本                     | 通 | <input type="checkbox"/> 判決正本送達証明書   | 通 |
| <input type="checkbox"/> 執行文付第 回口頭弁論調書 (判決・和解・認諾) 正本  |   |                                      | 通 |
| <input type="checkbox"/> 第 回口頭弁論調書 (判決・和解・認諾) 正本送達証明書 |   |                                      | 通 |
| <input type="checkbox"/> 執行文付第 回弁論準備手続調書 (和解・認諾) 正本   |   |                                      | 通 |
| <input type="checkbox"/> 第 回弁論準備手続調書 (和解・認諾) 正本送達証明書  |   |                                      | 通 |
| <input type="checkbox"/> 執行文付和解調書正本                   | 通 | <input type="checkbox"/> 和解調書正本送達証明書 | 通 |
| <input type="checkbox"/>                              |   |                                      |   |
| <input type="checkbox"/>                              |   |                                      |   |
| <input type="checkbox"/>                              |   |                                      |   |
| <input type="checkbox"/>                              |   |                                      |   |

(注) 該当する事項の□にレを付する。

(訴訟費用額確定処分)

平成 年(七)第 号訴訟費用額確定処分申立事件  
(本案・平成 年(七)第 号)

訴訟費用額確定処分

住 所

申立人 (原告)

訴訟代理人弁護士

住 所

相手方 (被告)

申立人から、当庁が平成 年 月 日言い渡した判決についての訴訟費用額確定処分の申立てがあったので、別紙計算書(※別紙計算書は省略)に基づき、次のとおり定める。

主 文

相手方は、申立人に対し、〇〇万〇〇〇〇円を支払え。

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事 部

裁判所書記官

印

平成 年(㉞)第 号 手数料還付申立事件

(本案：平成 年(㉟)第 号 請求事件)

決 定

申 立 人

民事訴訟費用等に関する法律 9 条  1 項 (過納付)  3 項 (取下げ) に  
よる手数料還付の申立てについて、申立てを理由ありと認め、次のとおり決定する。

主 文

申立人に対し、 円を還付する。

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部

裁 判 官

これは正本である。

同日同庁

裁判所書記官

東京地方裁判所民事第 部		(第1審)	記録冊数	冊	総丁数	丁
分類名	文書の標目等		初 丁 数 等		備 考	
第1分類	調 書 群		丁			
	判 決 書		丁			
	訴状(控訴状, 上告状)		丁			
	反 訴 状		丁			
第2分類	目 録	書 証	丁			
		証 人 等	丁			
	書 証 群		丁			
			(甲 ~ 号証)第 分冊			
			(乙 ~ 号証)第 分冊			
	証 拠 調 べ 調 書 群		丁			
第3分類	委 任 状 ( 原 告 )		丁			
	委 任 状 ( 被 告 )		丁			
	(上記掲記のほか, 上訴関係書類 丁あり)					



事件番号 平成 年( )第 号

平成 年 月 日

予納者 殿

東京地方裁判所民事第 部

裁判所書記官

### 返 還 書

予納を受けた郵便切手について、使用残額 円分を

返還します。

なお、このほかに 円分は、返送料として使用しました。

お手数ながら別紙の受領書を提出してください。

予納郵便切手返還書

事件番号

平成

年( )第

号

平成 年 月 日

東京地方裁判所民事第 部 御中

住 所

氏 名

印

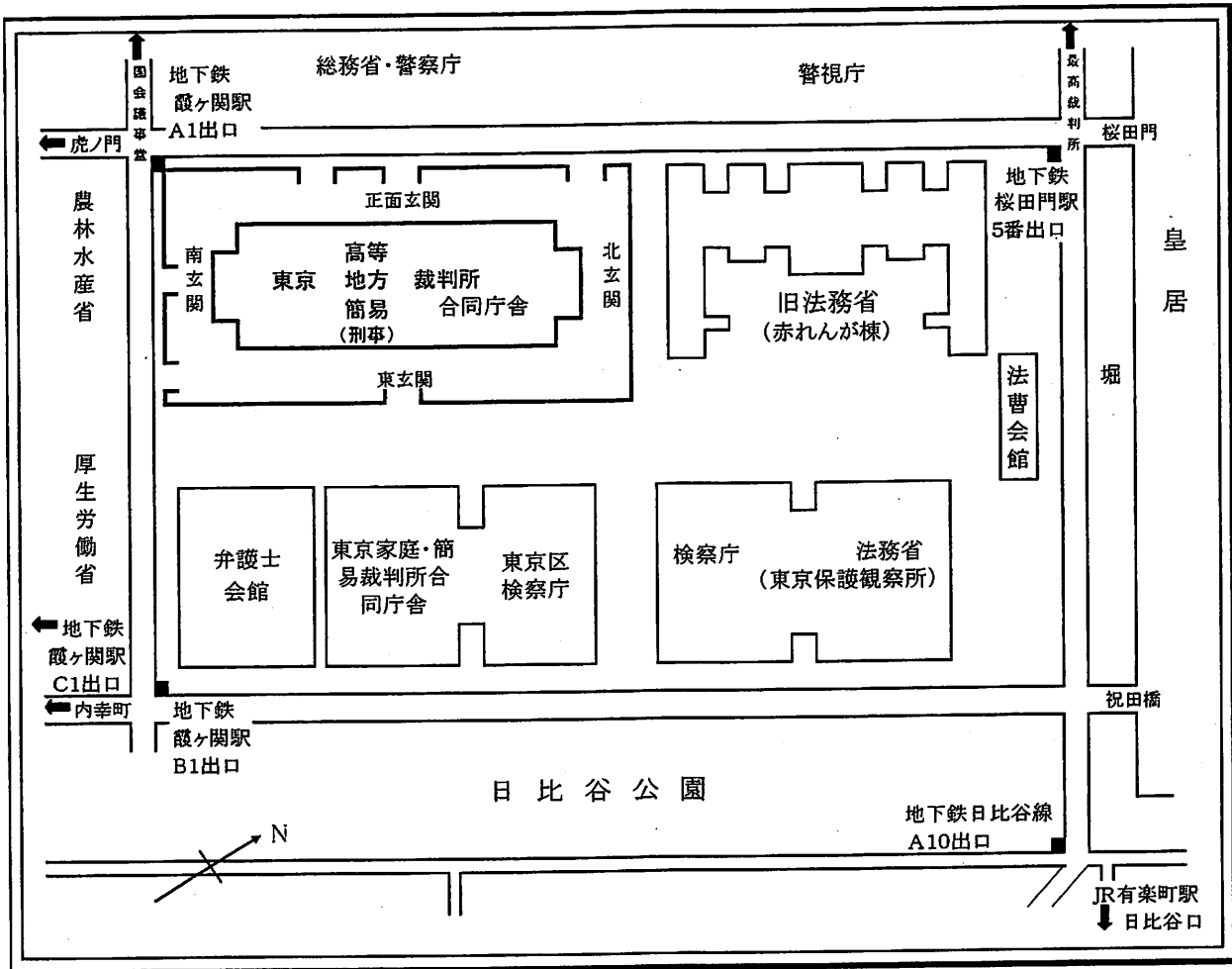
受 領 書

郵便切手

円分を受領しました。

予納郵便切手受領書

# 庁舎案内図



◎ あなたの行く法廷は 階 号法廷です。

〔最寄駅〕 地下鉄	丸の内線	霞ヶ関駅 (A1出口) 1分
	日比谷線	霞ヶ関駅 (A1出口) 1分
	千代田線	霞ヶ関駅 (C1出口) 8分
	有楽町線	桜田門駅 (5番出口) 3分
	都営三田線	日比谷駅 (A10出口) 13分
JR	山手線・京浜東北線	有楽町駅 (日比谷口) 18分

## 東京地方裁判所

〒100-8920 千代田区霞が関一丁目1番4号

TEL 03(3581)

(ダイヤルイン)

正面玄関以外は都合により閉鎖される場合がありますので御注意ください。

当庁の駐車施設は狭あいがかつ閉鎖されることもありますので、車による来庁は御遠慮ください。





裁判長	
認 印	

第2号様式（民事保全事件口頭弁論調書合議用）

第 回 口 頭 弁 論 調 書	
事 件 の 表 示	平成 年 ( ) 第 号
期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
場所及び公開の有無	法廷で公開
裁判長 裁判官 裁判官 裁判所書記官	末尾記名の裁判所書記官
出頭した当事者等	
指 定 期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
弁 論 の 要 領	
<input type="checkbox"/> 主張関係別紙のとおり <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 証拠関係別紙のとおり 裁判長 <input type="checkbox"/> 審理終結 <input type="checkbox"/> 審理終結日 平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 調書決定別紙のとおり言渡し <input type="checkbox"/>	
裁 判 所 書 記 官	

(注) 1 「出頭した当事者等」に使用されている符号は、事件記録の表紙に記載のものである。  
 2 該当する事項の□にレを付する。

裁判官	
認 印	

第2号様式（民事保全事件口頭弁論調書単独用）

第 回 口 頭 弁 論 調 書	
事 件 の 表 示	平成 年 ( ) 第 号
期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
場所及び公開の有無	法廷で公開
裁 判 官 裁 判 所 書 記 官	末尾記名の裁判所書記官
出頭した当事者等	
指 定 期 日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分
弁 論 の 要 領	
<input type="checkbox"/> 主張関係別紙のとおり  <input type="checkbox"/>   <input type="checkbox"/> 証拠関係別紙のとおり  裁判官 <input type="checkbox"/> 審理終結 <input type="checkbox"/> 審理終結日 平成 年 月 日 <input type="checkbox"/> 調書決定別紙のとおり言渡し  <input type="checkbox"/>	
裁 判 所 書 記 官	

(注) 1 「出頭した当事者等」に使用されている符号は、事件記録の表紙に記載のものである。  
 2 該当する事項の□にレを付する。



第4号様式 (民事保全事件参考人等目録)

参 考 人 等 目 録 ( 申出分)						
申 出		審 尋 等 の 施 行		調書省 略許可	録音体 の利用	備 考
期 日 等	証 拠 方 法 の 表 示 等	年 月 日	時			
審尋第 第 回弁論 ． ．				<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有	
審尋第 第 回弁論 ． ．				<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有	
審尋第 第 回弁論 ． ．				<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有	
審尋第 第 回弁論 ． ．				<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有	
審尋第 第 回弁論 ． ．				<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有	
審尋第 第 回弁論 ． ．				<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有	
審尋第 第 回弁論 ． ．				<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 有	

(注) 1 「審尋第 」とあるのは、その番号の審尋調書が作成された審尋期日をいう。  
 2 該当する事項の□にレを付する。





(別紙様式第1)

第1号様式(期日調書合議用)

裁判長認印

第 回 期 日 調 書

事件の表示 平成 年 ( ) 第 号  
期 日 平成 年 月 日 午前・午後 時 分  
場 所 等

(電話会議 テレビ会議 の方法による)

裁判長裁判官

裁 判 官

裁 判 官

裁判所書記官

出頭した当事者等

指 定 期 日 平成 年 月 日 午前・午後 時 分

手 続 の 要 領 等

(注) 1 該当する事項の□にレを付する。

2 「手続の要領等」の記載の末尾に、裁判所書記官が記名押印する。

(別紙様式第2)

第1号様式(期日調書単独用)

裁判官認印

第 回 期 日 調 書

事 件 の 表 示 平成 年 ( ) 第 号  
期 日 平成 年 月 日 午前・午後 時 分  
場 所 等

(電話会議 テレビ会議 の方法による)

裁 判 官

裁 判 所 書 記 官

出頭した当事者等

指 定 期 日 平成 年 月 日 午前・午後 時 分

手 続 の 要 領 等

(注) 1 該当する事項の□にレを付する。

2 「手続の要領等」の記載の末尾に、裁判所書記官が記名押印する。



( 申出分 )							
証 人 等 目 録							
(この目録は、期日に行われた事項については、各期日の調書と一体となるものである。)							
申 出		採 否 の 裁 判		証 拠 調 べ の 施 行		調書の作成 に関する許 可等	備 考
期 日 等	証拠方法の表示等	期 日 等	採否 の別	指 定 期 日		実 施	
				年 月 日	時		
第 . . 回		第 . . 回	採 ・ 否			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調書省略 <input type="checkbox"/> 調書記載 に代わる <input type="checkbox"/> 録音テー <input type="checkbox"/> プ等
第 . . 回		第 . . 回	採 ・ 否			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調書省略 <input type="checkbox"/> 調書記載 に代わる <input type="checkbox"/> 録音テー <input type="checkbox"/> プ等
第 . . 回		第 . . 回	採 ・ 否			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調書省略 <input type="checkbox"/> 調書記載 に代わる <input type="checkbox"/> 録音テー <input type="checkbox"/> プ等
第 . . 回		第 . . 回	採 ・ 否			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調書省略 <input type="checkbox"/> 調書記載 に代わる <input type="checkbox"/> 録音テー <input type="checkbox"/> プ等
第 . . 回		第 . . 回	採 ・ 否			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調書省略 <input type="checkbox"/> 調書記載 に代わる <input type="checkbox"/> 録音テー <input type="checkbox"/> プ等
第 . . 回		第 . . 回	採 ・ 否			<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 調書省略 <input type="checkbox"/> 調書記載 に代わる <input type="checkbox"/> 録音テー <input type="checkbox"/> プ等

(注) 該当する事項の口にレを付する。



(別紙様式第6)

第5号様式 (事件経過表)

事件の表示 平成 年 ( ) 第 号

第 回 期 日 平成 年 月 日 午前・午後 時 分  
場 所 等 (  電話会議の方法による )

出頭した当事者等		書記官印
<input type="checkbox"/> 申立人	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 申立人代理人	<input type="checkbox"/>	
次回期日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分	

第 回 期 日 平成 年 月 日 午前・午後 時 分  
場 所 等 (  電話会議の方法による )

出頭した当事者等		書記官印
<input type="checkbox"/> 申立人	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 申立人代理人	<input type="checkbox"/>	
次回期日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分	

第 回 期 日 平成 年 月 日 午前・午後 時 分  
場 所 等 (  電話会議の方法による )

出頭した当事者等		書記官印
<input type="checkbox"/> 申立人	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> 申立人代理人	<input type="checkbox"/>	
次回期日	平成 年 月 日 午前・午後 時 分	

(注) 該当する事項の口にレを付する。

(別紙)

平成●●年( )第●●●号

期 日 一 覧 表

期 日	方 法	当 事 者 等
平成 年 月 日午前・後 時 分	<input type="checkbox"/> 電話会議 の方法による	<input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 申立人代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> 相手方代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ( - - )
平成 年 月 日午前・後 時 分	<input type="checkbox"/> 電話会議 の方法による	<input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 申立人代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> 相手方代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ( - - )
平成 年 月 日午前・後 時 分	<input type="checkbox"/> 電話会議 の方法による	<input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 申立人代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> 相手方代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ( - - )
平成 年 月 日午前・後 時 分	<input type="checkbox"/> 電話会議 の方法による	<input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 申立人代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> 相手方代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ( - - )
平成 年 月 日午前・後 時 分	<input type="checkbox"/> 電話会議 の方法による	<input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 申立人代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> 相手方代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ( - - )
平成 年 月 日午前・後 時 分	<input type="checkbox"/> 電話会議 の方法による	<input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 申立人代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> 相手方代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ( - - )
平成 年 月 日午前・後 時 分	<input type="checkbox"/> 電話会議 の方法による	<input type="checkbox"/> 申立人 <input type="checkbox"/> 申立人代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> 相手方 <input type="checkbox"/> 相手方代理人 ( - - ) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ( - - )

(※)テレビ会議の方法により期日を行った場合には、「方法」欄の「電話会議」を「テレビ会議」と訂正する。